

Ⅲ 普天間飛行場周辺測定結果

1 概要

普天間飛行場周辺における各測定局の配置状況及び測定期間内における Lden を図 F 1 に、また測定結果の概要を表 F 1 に示す。

各測定局における環境基準の類型指定状況は、15 測定局中、類型 I が 12 局、類型 II が 1 局、類型未指定が 2 局となっている。

これらの測定局では、年間を通して常時測定を行っており、全 15 局がオンラインで県測定本部へ接続されている。

2 測定結果

(1) Lden について

測定期間内における Lden (※P. 86-87 参照) を表 F 1 及び図 F 2 に示す。

環境基準値を超過した測定局は、類型指定されている 13 測定局中 3 局 (23%) で、野嵩局、上大謝名局及び新城局であった。

また、最大値は、上大謝名局の 65dB (基準値 57dB) で前年度最大値であった同局の 62dB から 3 dB 増加した。

(2) WECPNL について

平成 24 年度までの環境基準の評価指標であった測定期間内における WECPNL (※P. 88~89 参照) を表 F 1 及び図 F 3 に示す。

類型指定されている 13 測定局中 3 局 (約 23%) で旧環境基準値 (I 型 : 70) を超えており、最大値は上大謝名局の 82 であった。

(3) 1 日当たりの騒音発生回数について

測定期間内における 1 日当たりの騒音発生回数を表 F 1 及び図 F 4 に示す。

前年度と比較可能な 12 測定局において、新城局における 63.6 回/日が最も多く、前年度最多であった同局の 38.2 回/日から 25.4 回/日増加した。

また、前年度と比較可能な全 12 局で増加した。

(4) 月別の Lden と 1 日当たりの騒音発生回数について

月別の Lden と 1 日当たりの騒音発生回数を図 F 5 ~ 5-4 に示す。

月別の Lden では、上大謝名局において、毎月、環境基準値 (I 型 : 57dB) を超える状況であった。

また、月別の 1 日当たりの騒音発生回数で最も多かったのは、新城局で令和 6 年 4 月に観測された 83.6 回/日であった。

(5) 最大騒音レベルについて

測定期間内における最大騒音レベルの平均値及び最大値を表 F 1 に、月別の最

大騒音レベルの平均値及び最大値を図 F 6～6-4 に示す。

測定期間内の最大騒音レベルの平均値は、15 測定局中 4 局（27%）で 80dB を超えており、このうち、上大謝名局の 90.8dB が最も高かった。また、野嵩局及び上大謝名局では毎月、最大騒音レベルの月平均値が 80dB を超えていた。

月別の最大騒音レベルの月間最大値をみると、上大謝名局では、毎月 100dB 以上を記録し、令和 7 年 2 月には上大謝名局で普天間飛行場周辺の測定局中最大の 124.4dB を記録した。

(6) 曜日別の騒音発生回数について

曜日別の平均騒音発生回数を表 F 2 及び図 F 7～7-2 に示す。

月曜日から金曜日の平日に騒音の発生が多い傾向が見られるが、土曜日及び日曜日においても騒音の発生が観測されている。

(7) 時間帯別の月平均騒音発生回数について

0 時から 7 時 (N1)、7 時から 19 時 (N2)、19 時から 22 時 (N3)、22 時から 24 時 (N4) の各時間帯における月平均騒音発生回数（回/月）及び航空機騒音規制措置（日米合同委員会合意事項：H8. 3. 28、P. 94-95 参照）で飛行等が制限されている 22 時から翌朝 6 時の間の騒音発生回数（回/月）を表 F 3 に示す。

月平均騒音発生回数をみると、ほとんどの測定局で、7 時から 19 時 (N2) までの間の騒音発生回数が 1 日の騒音発生回数の 75% 以上を占めているが、22 時から翌朝 7 時 (N1+N4) においても観測されている。

22 時から翌朝 6 時の間の月平均騒音発生回数は、前年度との比較が可能な 12 測定局中 10 局で増加したほか、新城局の 78.7 回/月が最も多く、前年度最多であった大山局の 51.3 回/月から 27.4 回/月増加した。

(8) 1 日ごとの環境基準（Lden が 57dB 又は 62dB）を超過した日数について

測定局ごとに測定した日数と 1 日ごとの Lden57dB（地域類型 I）又は 62dB（地域類型 II）を超過した日数を表 F 4 及び図 F 8 に示す。

1 日ごとの Lden の環境基準の超過率が最も高いのは上大謝名局で 51.0%（365 日中 179 日）であった。

なお、環境基準の達成評価は、通年測定の場合、年間平均 Lden により行うこととなっている。

(9) WECPNL、Lden と 1 日当たりの騒音発生回数の年度別推移について

年間平均の WECPNL、Lden 及び 1 日当たりの騒音発生回数（回/日）の年度別推移を図 F 9～9-4 に示す。

WECPNL は、多くの測定局で概ね横ばいで推移しており、上大謝名局及び野嵩局では、ほぼ毎年、旧環境基準値を超過している。

(10) 航空機騒音規制措置合意前後の騒音発生状況について

航空機騒音規制措置合意前の平成7年度から継続して測定している野嵩局、平成9年度に設置した上大謝名局及び新城局について、WECPNLと夜間・早朝（22時から翌朝7時まで）の騒音発生回数（回/月）の年度別推移を表F5及び図F10～10-2に示す。

WECPNLは、上大謝名局及び野嵩局は、ほぼ毎年、旧環境基準値を超過する値で推移しており、新城局は旧環境基準値の前後で推移しているが、3局とも明確な軽減は見られない。

夜間・早朝の騒音発生回数は、増減しながら推移しているが、令和6年度は3局とも前年度を上回っていた。

(11) L_{night} と月別の夜間・早朝騒音発生回数について

測定期間内における平均L_{night}（※P.86-87参照）を表F1に示す。また、月別のL_{night}と夜間・早朝（22時から翌朝7時まで）の騒音発生回数について図F11～11-4に示す。

測定期間内の平均L_{night}は、上大謝名局及び新城局の38dBが最も高かった。

月別のL_{night}については、40dBを超える月が最も多い測定局は上大謝名局及び新城局で、3か月あった。

月別の夜間・早朝騒音発生回数については、令和6年4月に新城局で記録した194回/月が最も多かった。

3 まとめ

○環境基準値を超過した測定局

- ・ 類型指定されている13測定局中3局（約23%）で環境基準を超過した。
- ・ 最大値は上大謝名局の65dB（基準値57dB）であった。

○1日当たりの騒音発生回数

- ・ 前年度と比較可能な全12測定局で増加し、このうち、新城局の63.6回/日が最も多かった。
- ・ 月曜日から金曜日までの平日に騒音の発生が多い傾向が見られるが、土曜日及び日曜日においても騒音の発生が確認されている。

○最大騒音レベル

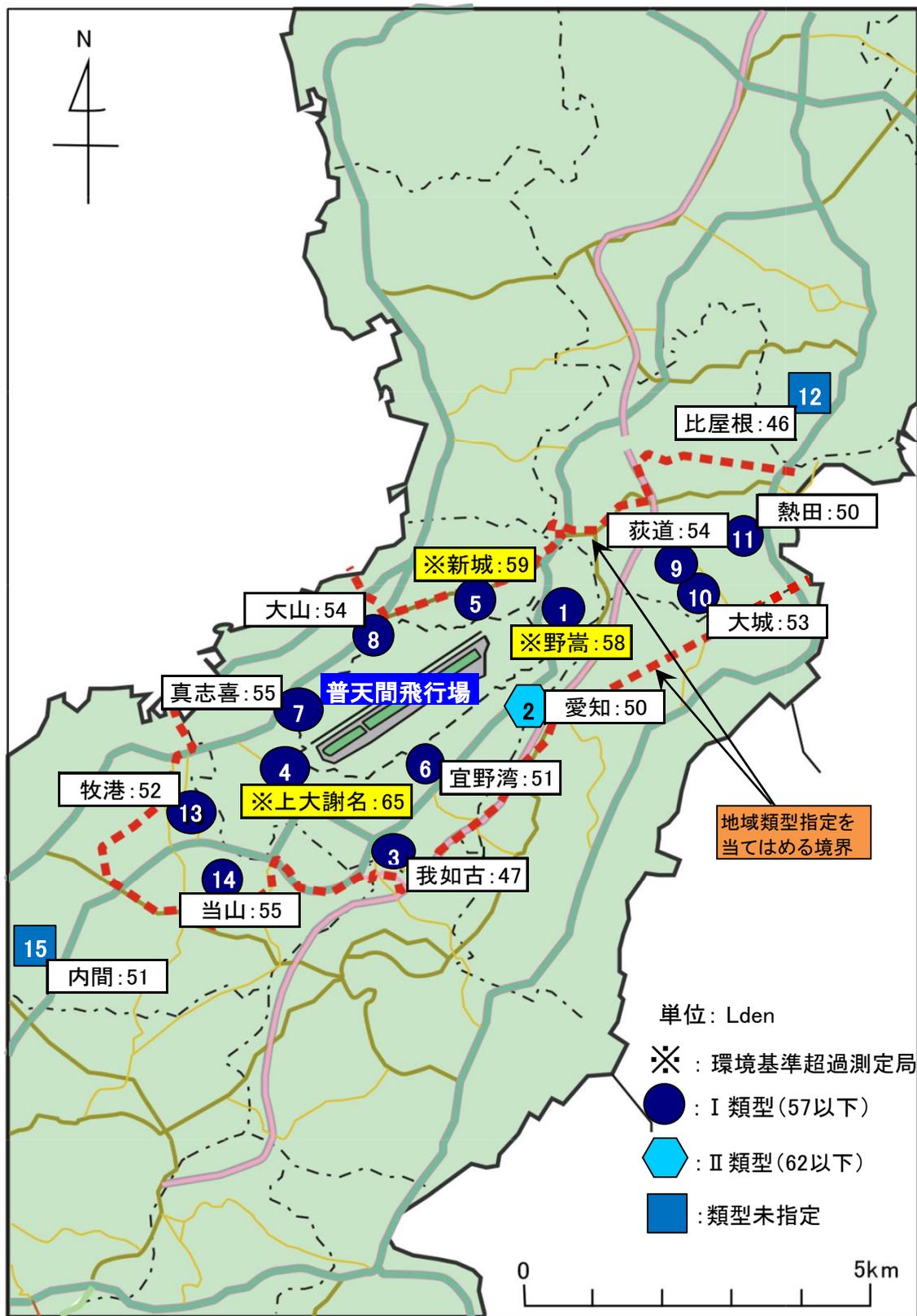
- ・ 測定期間中の最大騒音レベルの平均値は、15測定局中4局（27%）で80dBを超えた。
- ・ 月別の最大騒音レベルの月間最大値をみると、上大謝名局では、毎月100dB以上を記録し、令和7年2月には上大謝名局で普天間飛行場周辺の測定局中最大の124.4dBを記録した。

○航空機騒音規制措置合意前後の状況

- ・ WECPNL は、平成 7 年度以降、継続して測定している 3 局のうち、上大謝名局及び野嵩局で、ほぼ毎年、旧環境基準値を超過する値で推移している。
- ・ 夜間・早朝（22 時～7 時）騒音発生回数は、増減しながら推移しているが、令和 6 年度は 3 局とも前年度を上回っていた。

○Lnight

- ・ 測定期間内の平均 Lnight は、上大謝名局及び新城局の 38dB が最も高かった。



図F1 普天間飛行場周辺における航空機騒音測定結果

表 F 1 航空機騒音測定結果の概要 (普天間)

No.	測定地点		環境基準値		測定期間内 平均 Lden(dB)	測定期間内 平均 WECPNL	1日あたりの 騒音発生回数	最大騒音レベル		測定期間内 平均 Lnight(dB)	1日あたりの騒音 継続累積時間	測定期間	測定 日数
	測定局名 (管理者)	環境基準値 類型	Lden (dB)	測定期間内 最大値(dB)				測定期間内 平均値(dB)					
1	野嵩 (沖縄県)	I	57	58 (58)	73 (74)	26.2 (21.2)	112.2 (115.0)	83.7 (85.6)	37 (33)	6分49秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
2	愛知 (沖縄県)	II	62	50 (52)	64 (67)	27.0 (12.1)	100.6 (110.4)	74.2 (80.4)	28 (25)	12分21秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
3	我如古 (沖縄県)	I	57	47 (48)	62 (63)	13.3 (11.1)	100.0 (104.1)	75.6 (76.8)	22 (27)	5分51秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
4	上大謝名 (沖縄県)	I	57	65 (62)	82 (80)	44.9 (32.1)	124.4 (120.6)	90.8 (90.2)	38 (31)	12分0秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
5	新城 (沖縄県)	I	57	59 (57)	73 (72)	63.6 (38.2)	110.2 (108.0)	79.4 (80.8)	38 (35)	32分19秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
6	宜野湾 (沖縄県)	I	57	51 (50)	65 (65)	26.6 (20.8)	99.1 (108.6)	75.4 (76.9)	31 (28)	9分34秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
7	真志喜 (宜野湾市)	I	57	55 (54)	70 (69)	26.4 (18.3)	102.7 (102.4)	80.4 (80.3)	32 (28)	8分54秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
8	大山 (沖縄県)	I	57	54 (54)	68 (69)	36.9 (13.4)	101.2 (100.2)	76.8 (80.4)	31 (35)	15分14秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
9	菽道 (北中城村)	I	57	54 (52)	68 (67)	26.5 (20.9)	105.3 (109.4)	79.3 (79.2)	29 (27)	9分56秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
10	大城 (北中城村)	I	57	53 (51)	68 (66)	29.6 (28.4)	103.9 (100.9)	77.9 (76.4)	28 (28)	10分32秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
11	熱田 (北中城村)	I	57	50 (49)	64 (65)	22.9 (19.5)	96.4 (101.5)	75.0 (76.2)	28 (26)	11分20秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
12	比屋根 (沖縄市)	-	-	46 (47)	60 (63)	19.7 (19.0)	99.6 (100.7)	70.8 (74.3)	26 (26)	8分7秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	359	
13	牧港 (浦添市)	I	57	52 (50)	66 (65)	25.7 (23.2)	102.1 (101.5)	77.0 (77.0)	32 (28)	9分51秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	
14	当山 (浦添市)	I	57	55 (52)	69 (65)	25.1 (23.5)	109.6 (96.3)	80.1 (76.9)	32 (25)	9分30秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	359	
15	内間 (浦添市)	-	-	51 (49)	65 (63)	17.6 (23.5)	104.6 (92.8)	77.7 (74.6)	30 (24)	7分6秒	R6.4.1 ~ R7.3.31	365	

※ 測定期間内平均Ldenの下線付きの値は環境基準値超過を示す。

※ 表中の()内の数値は前年度(令和5年度)の値を示す。

※ 常時測定局のうち測定日数が年間日数(365日又は366日)に満たないものは、機器不良などの理由による。

※ Lnightは、0時~7時及び23時~24時の計8時間の平均でレベル算出した。

※ 愛知局は前年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所での測定を開始している。

※ 我如古局及び新城局は前年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、機器の設置位置を変更し、測定を開始している。

※ 大山局は前年度(令和6年3月)から測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所での測定を開始している。また、移設に伴い環境基準の地域類型が類型IIから類型Iに変更となっている。

※ 牧港局、当山局及び内間局の前年度(令和5年度)の値は欠測期間が2ヶ月を超えるため参考値扱いである(欠測率 牧港局:82.2%、当山局及び内間局:82.0%)。

また、同3局は令和6年1月から測定装置及び測定条件を変更している。

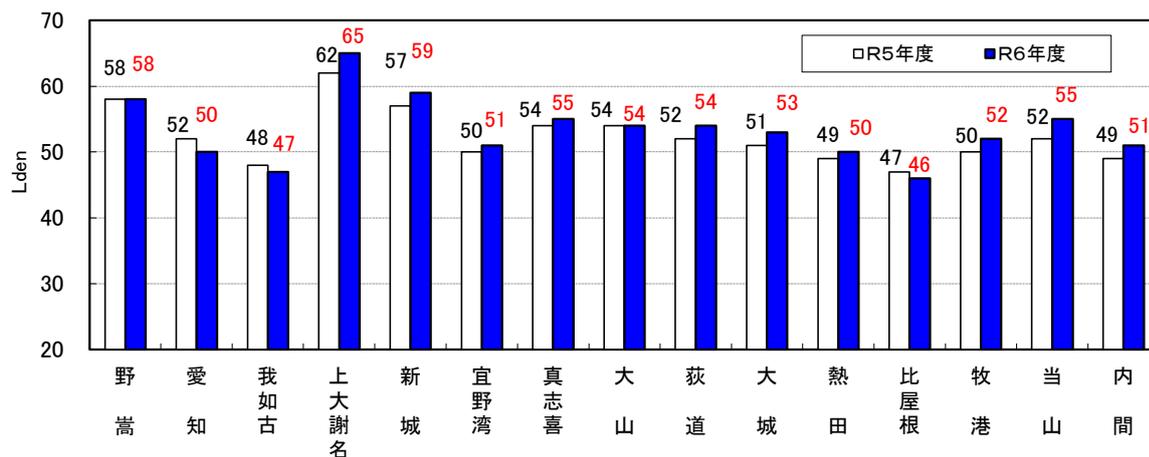


図 F 2 測定局別Lden (普天間)

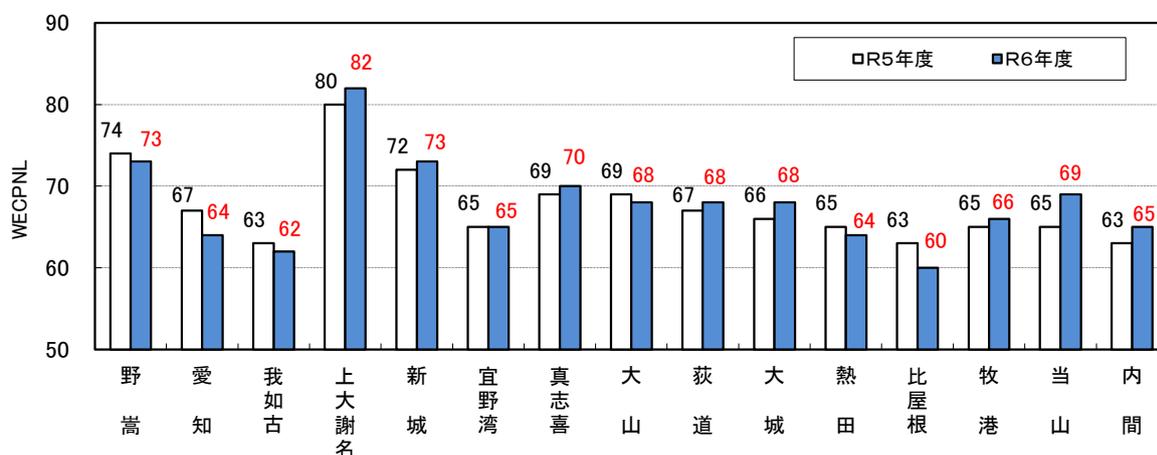


図 F 3 測定局別WECPNL (普天間)

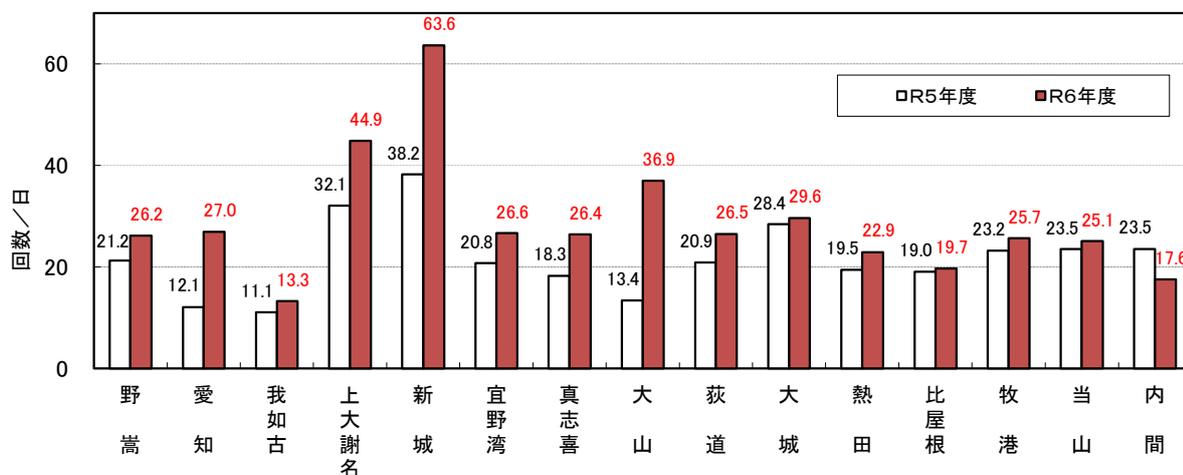
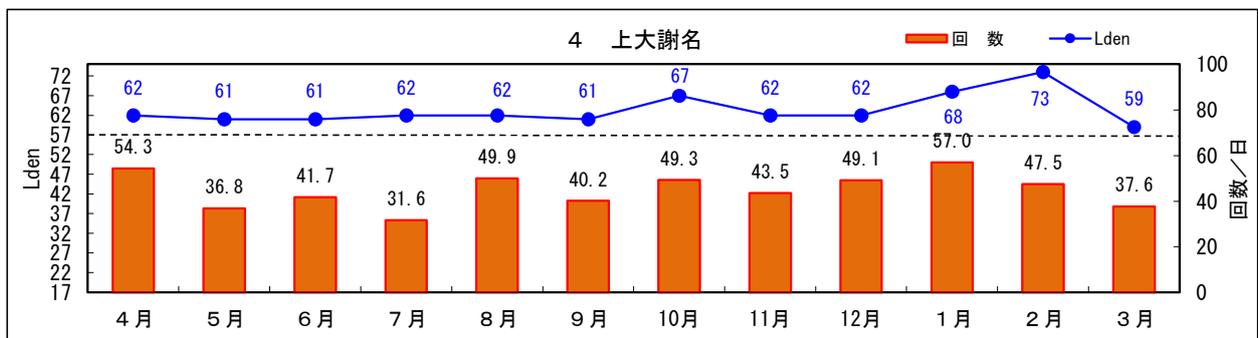
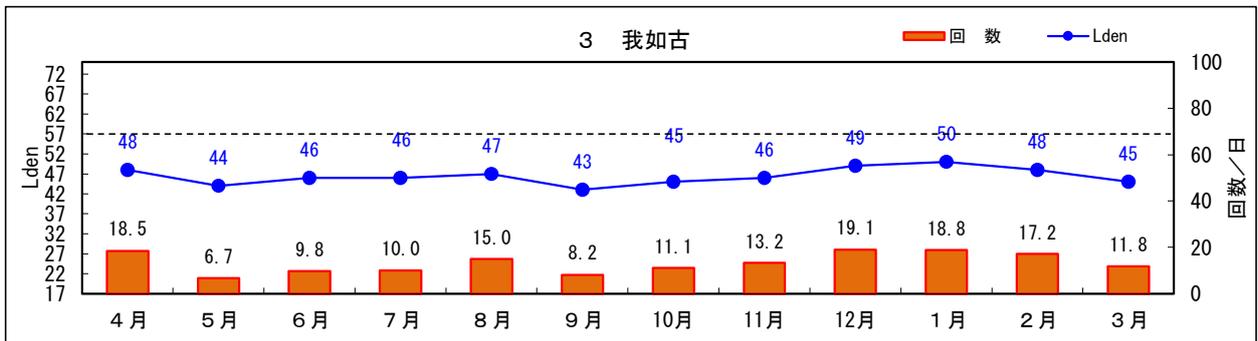
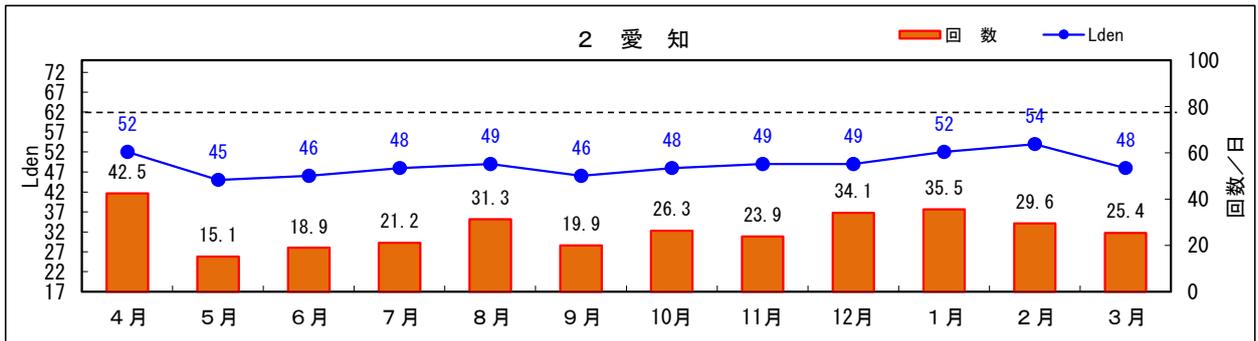
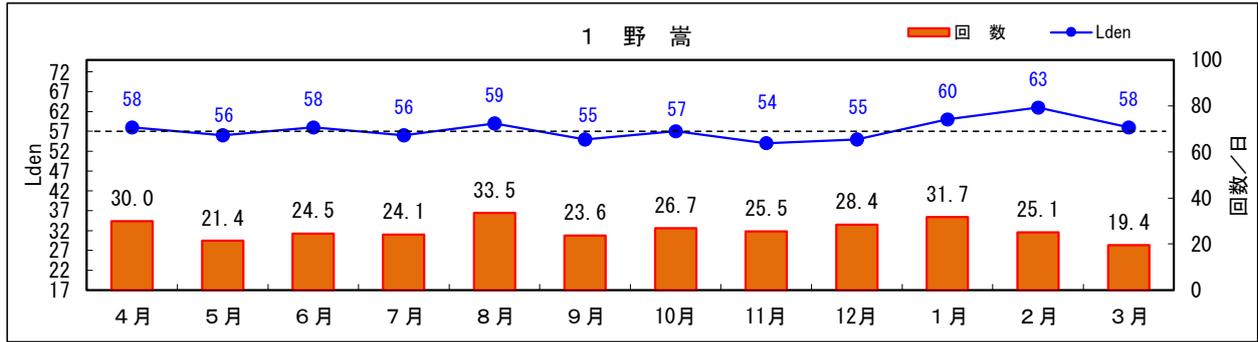
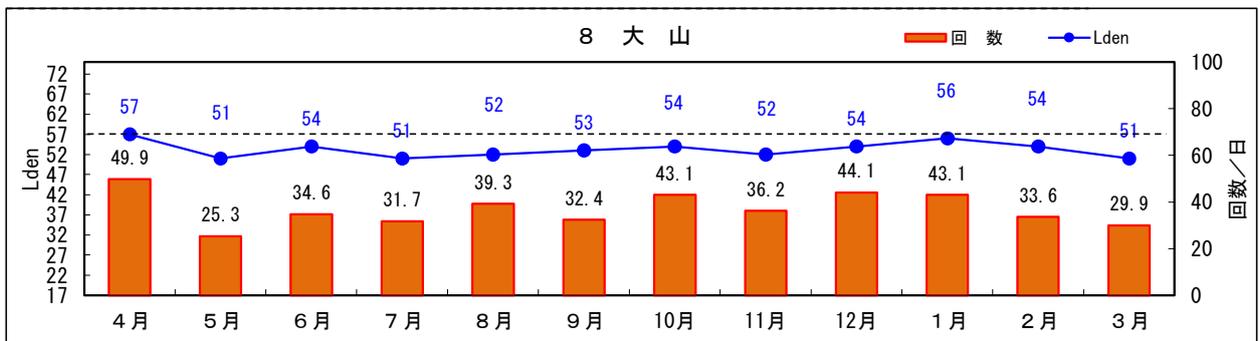
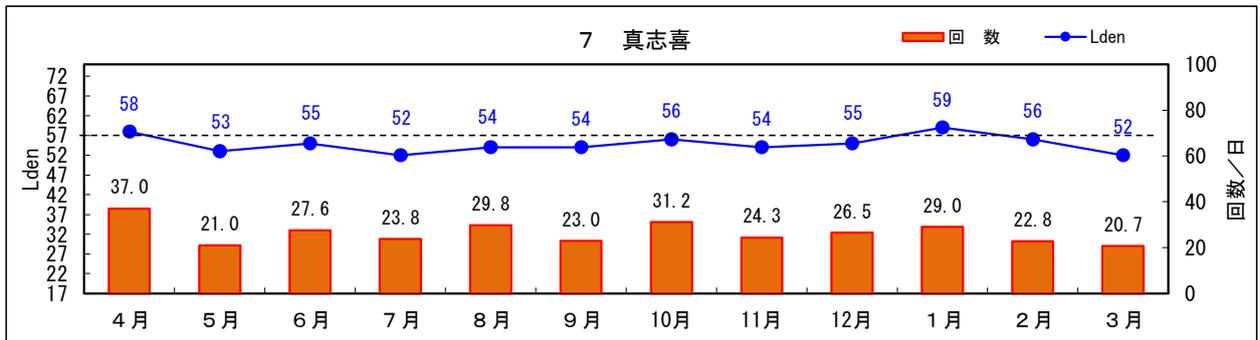
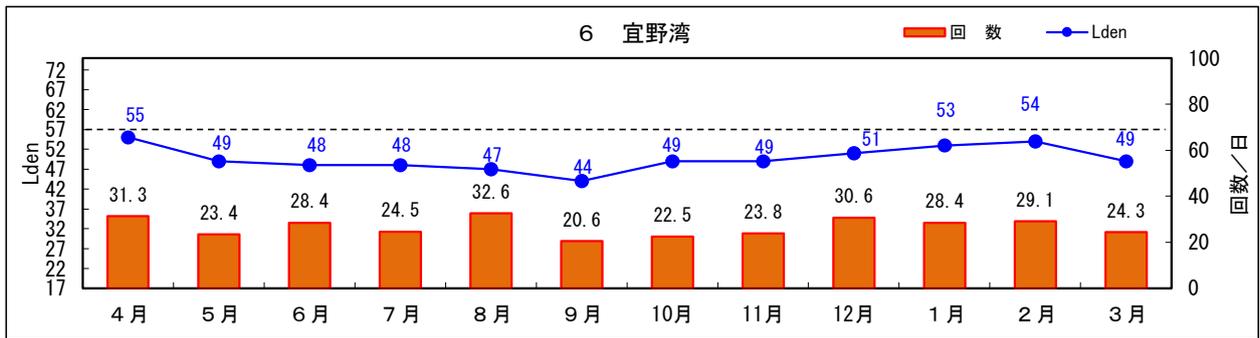
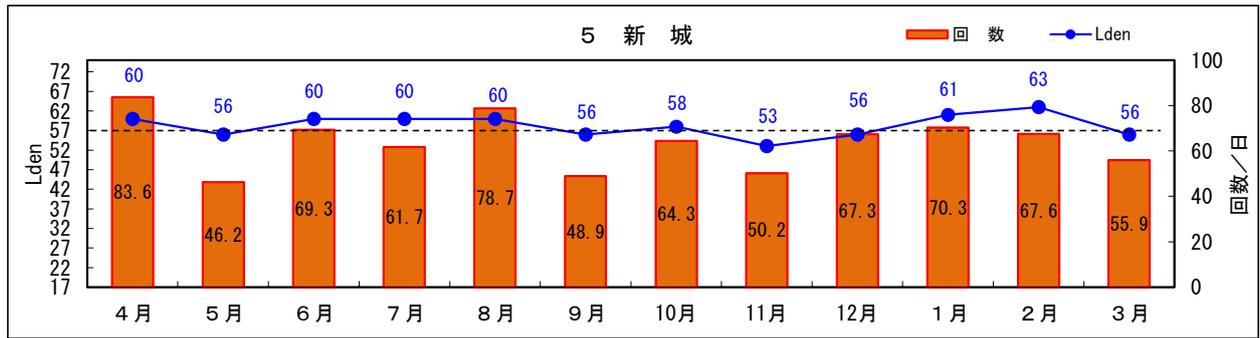


図 F 4 測定局別 1日あたりの騒音発生回数 (普天間)



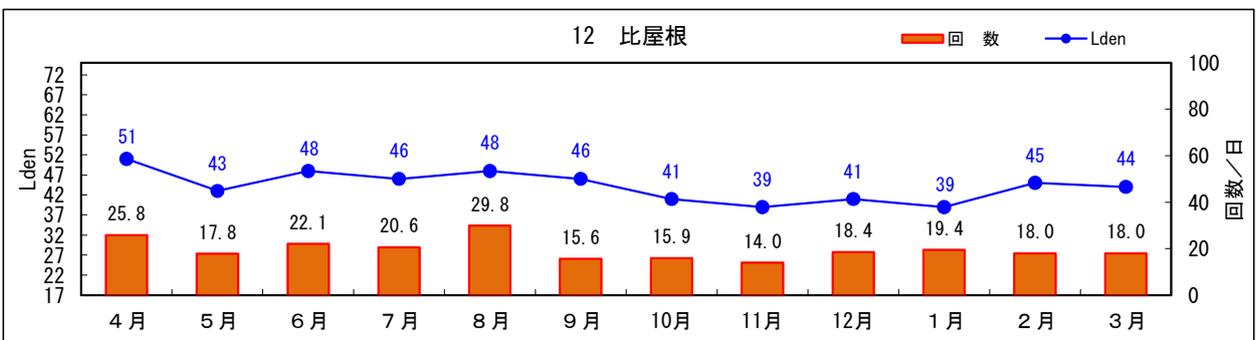
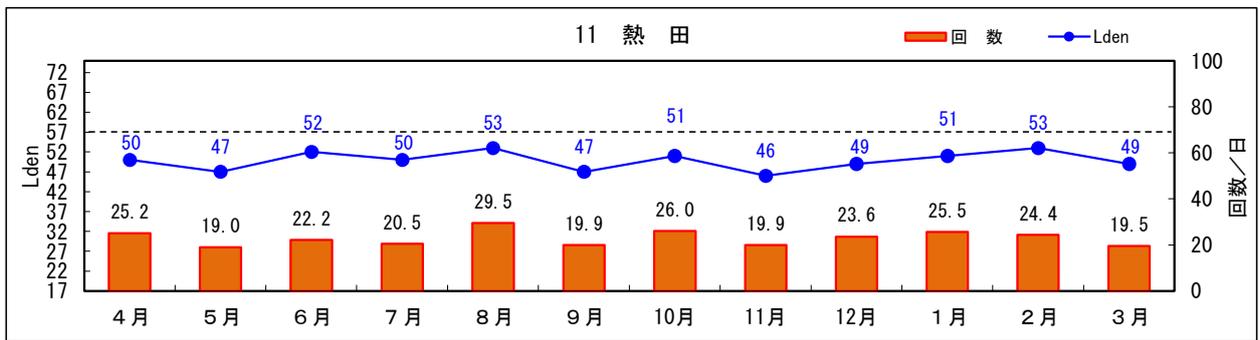
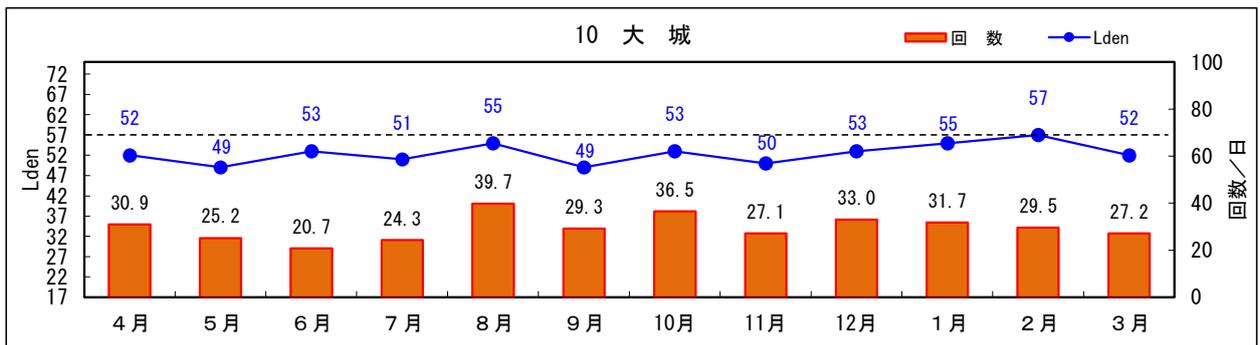
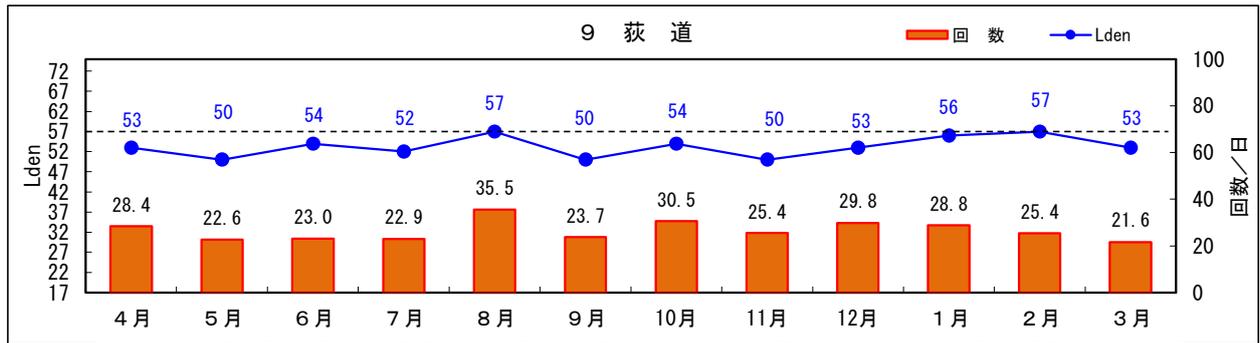
※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

図F5 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

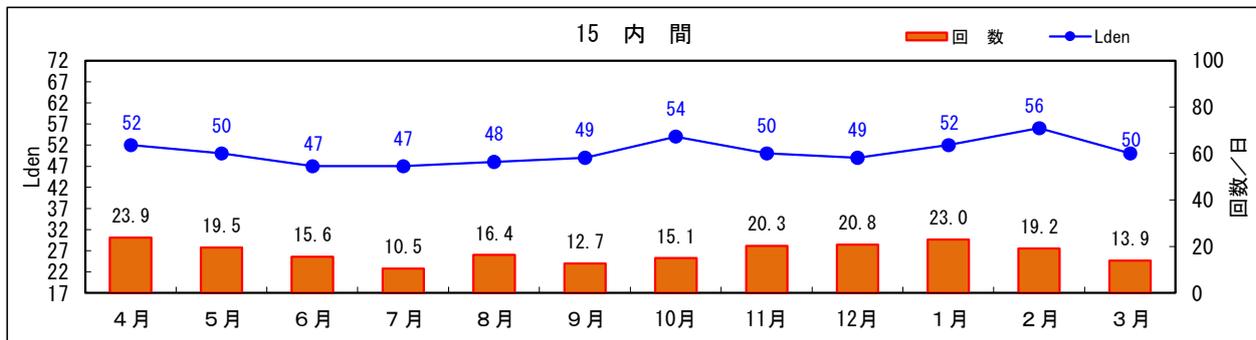
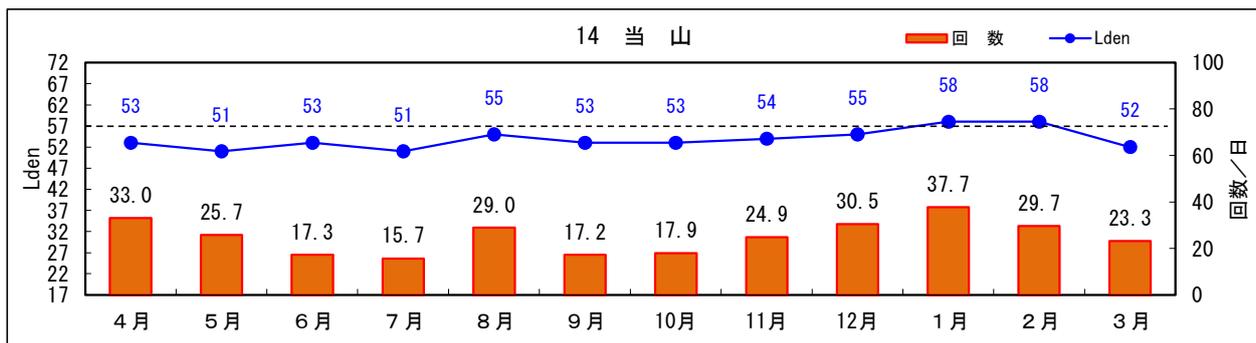
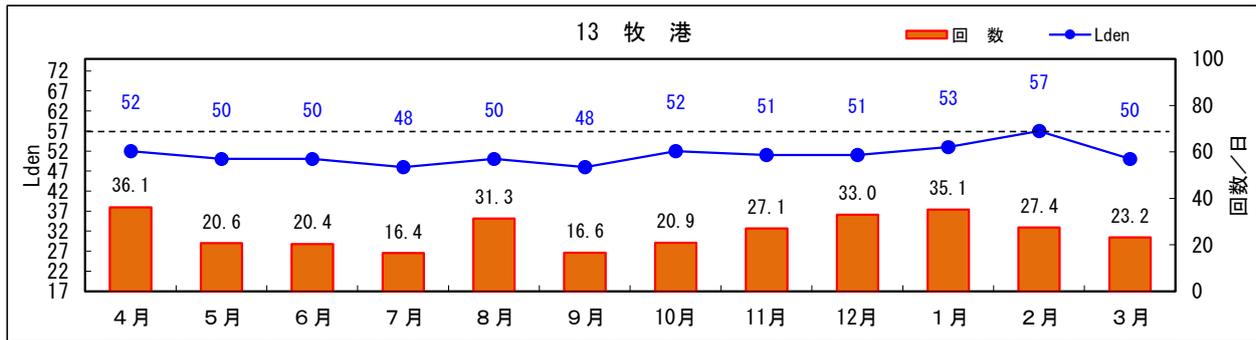
図F5-2 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



※環境基準類型未指定

※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

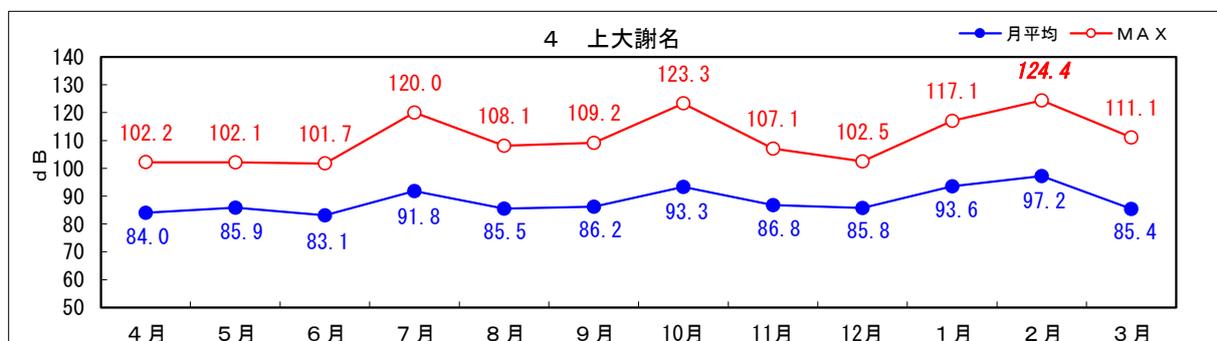
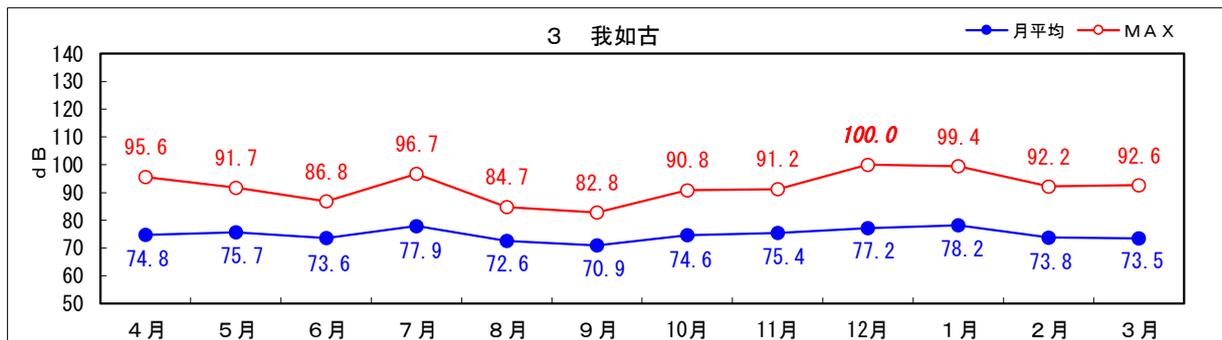
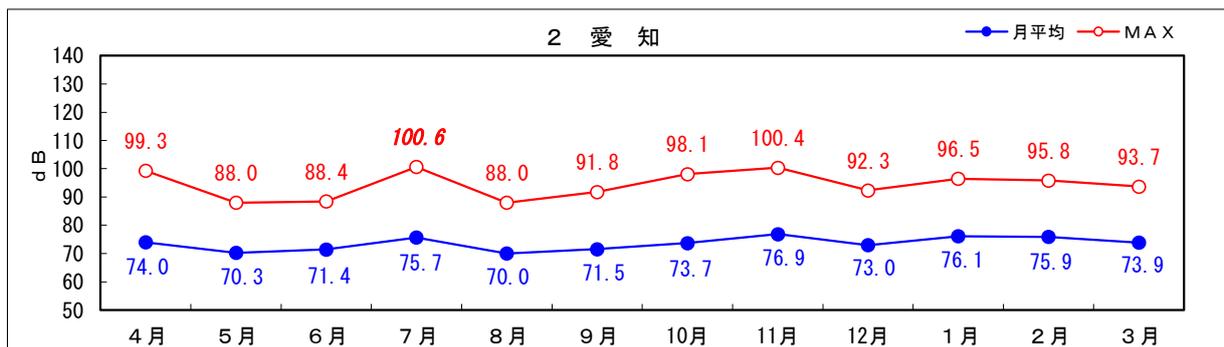
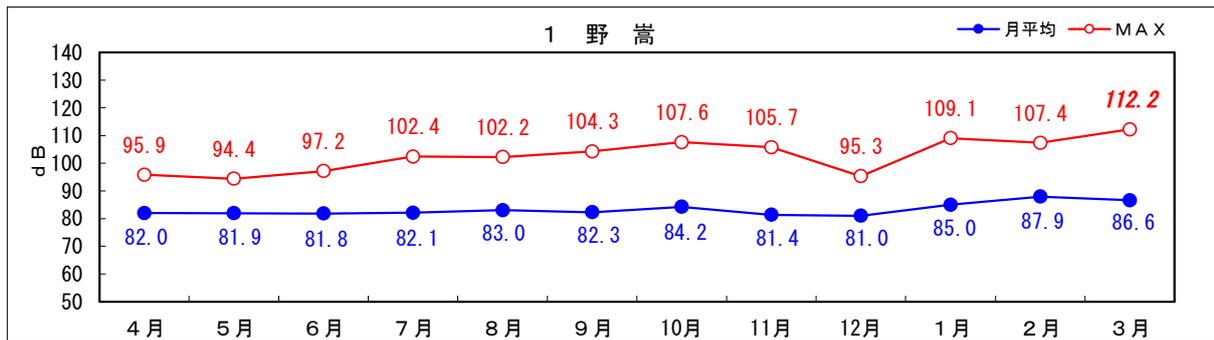
図F5-3 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



※環境基準類型未指定

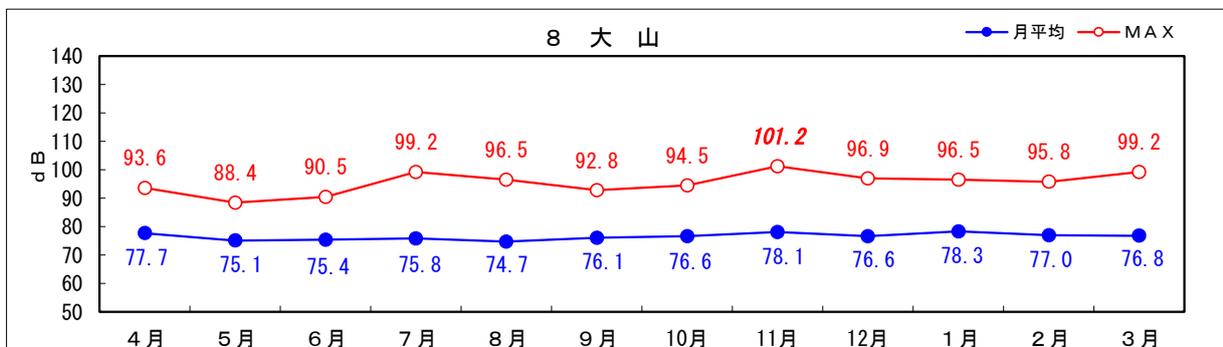
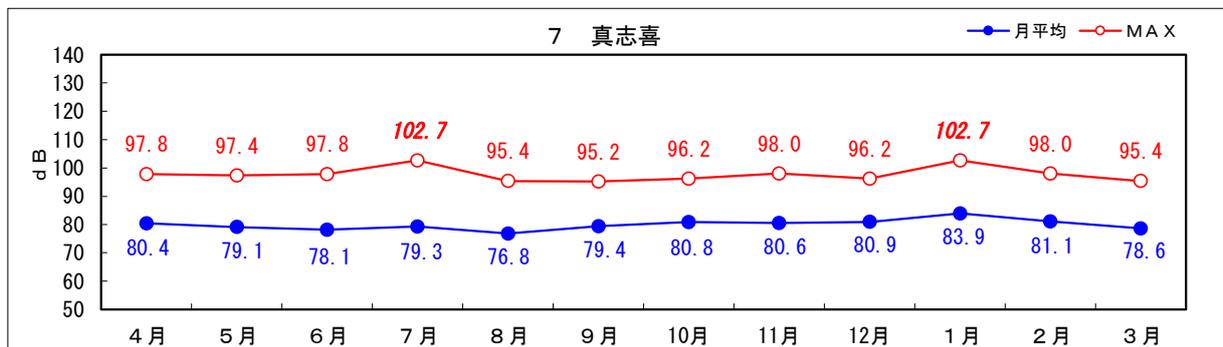
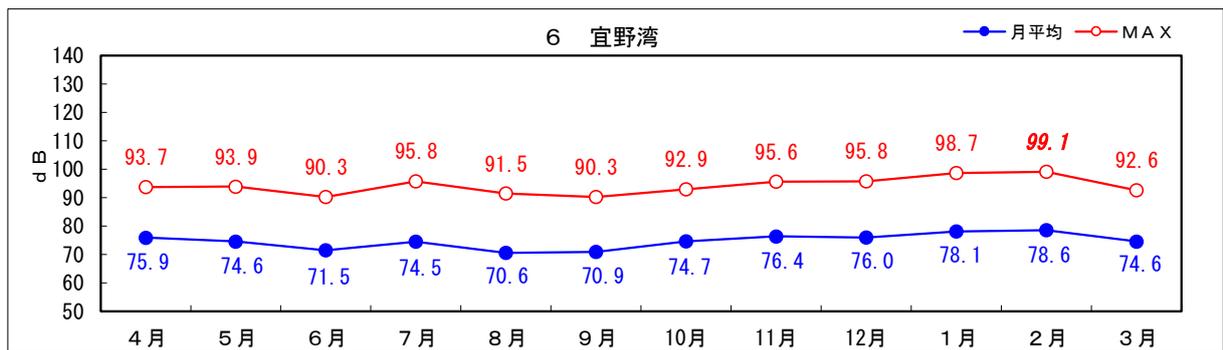
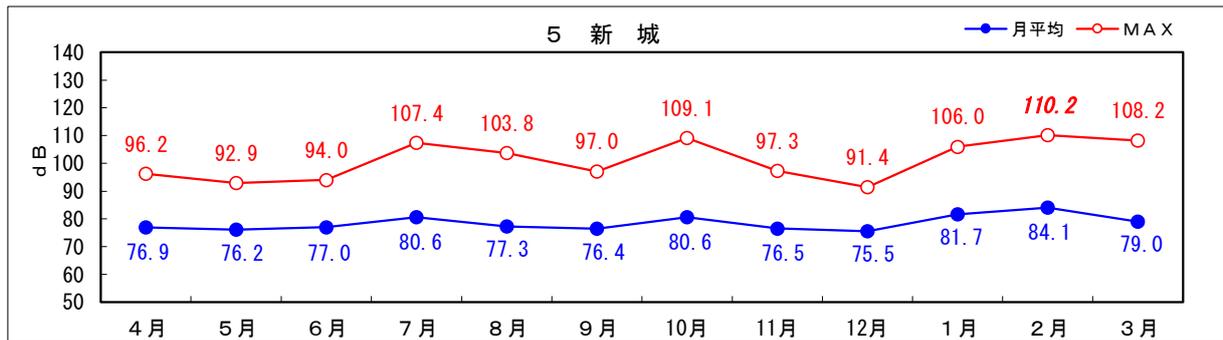
※ 図中の横破線は環境基準値のラインを示す。

図F5-4 月別のLdenと1日あたりの騒音発生回数（普天間）



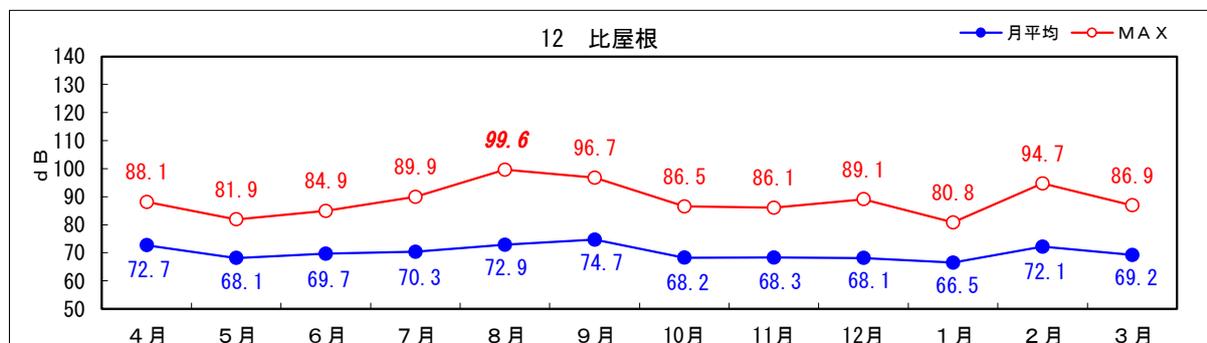
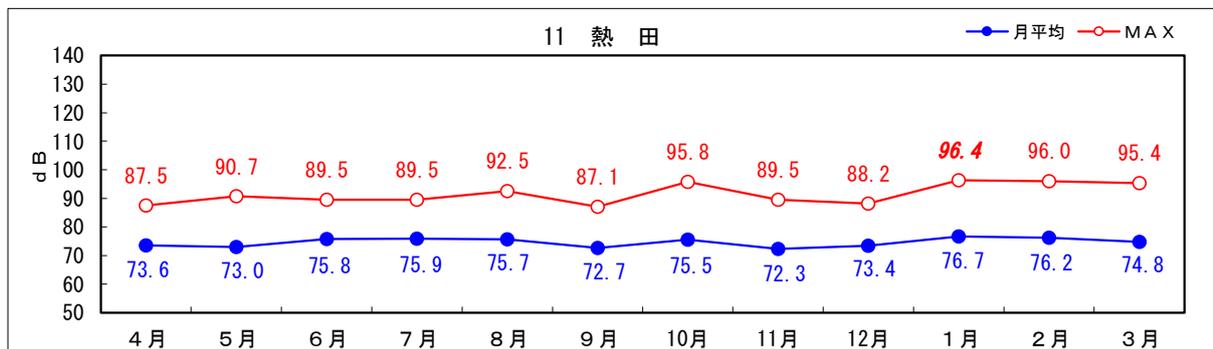
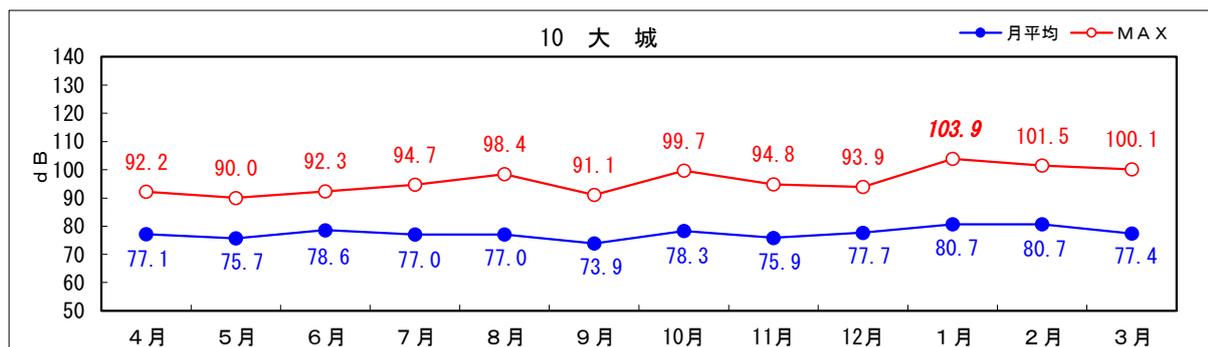
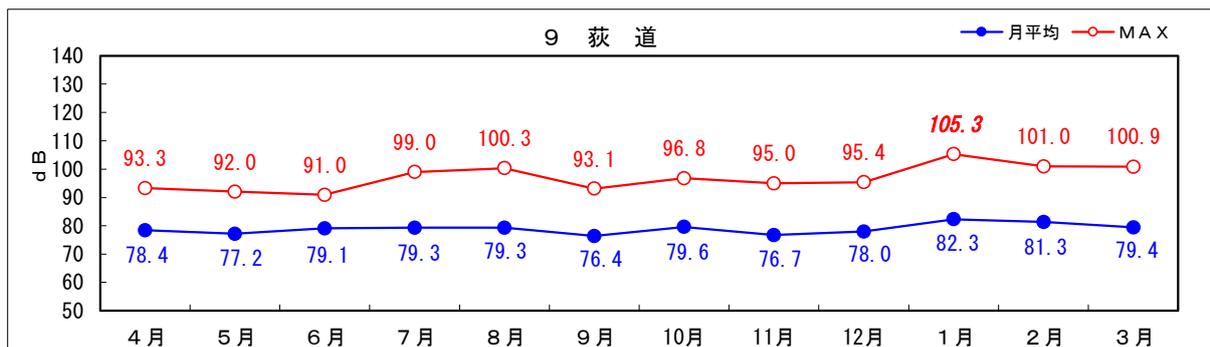
※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

図 F 6 月別の最大騒音レベルの月平均値と月間最大値 (MAX) (普天間)



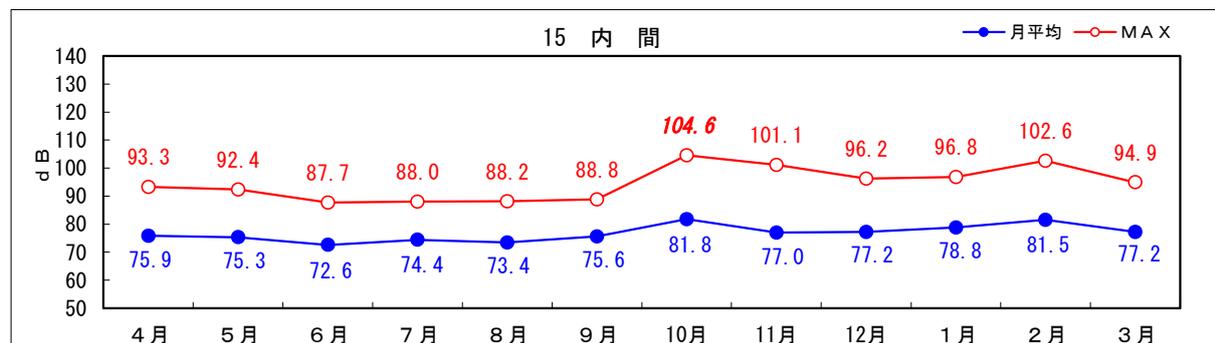
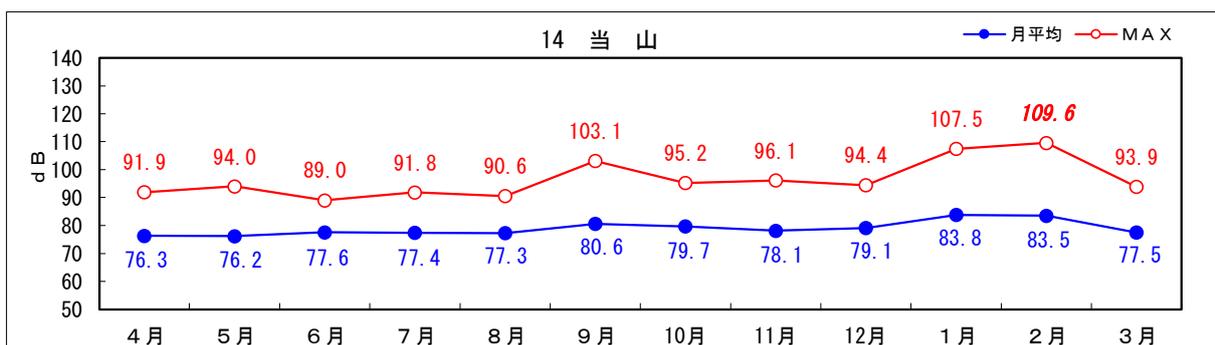
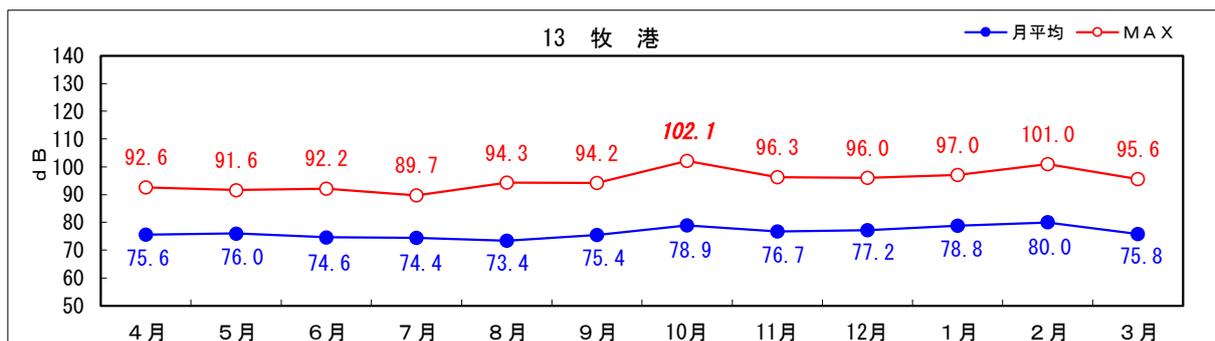
※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

図F 6-2 月別の最大騒音レベルの月平均値と月間最大値 (MAX) (普天間)



※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

図F 6-3 月別の最大騒音レベルの月平均値と月間最大値 (MAX) (普天間)



※ MAX値のうち斜体太字は測定局における年間最高値を示す。

図F6-4 月別の最大騒音レベルの月平均値と月間最大値 (MAX) (普天間)

表 F 2 曜日別の騒音発生回数（普天間）

(回/日)

測定地点	年度	日	月	火	水	木	金	土
1 野 嵩	R 5 年度	3.1	18.2	33.3	34.8	40.0	24.1	6.1
	R 6 年度	3.9	29.8	39.8	42.2	41.8	24.8	7.1
2 愛 知	R 5 年度	2.0	7.6	18.6	18.4	22.6	12.2	4.0
	R 6 年度	1.5	25.1	46.7	43.6	43.3	23.9	4.6
3 我如古	R 5 年度	2.1	7.0	17.2	15.5	21.1	11.3	3.9
	R 6 年度	0.9	13.0	22.6	21.1	21.7	11.2	2.4
4 上大謝名	R 5 年度	5.4	25.7	54.5	54.9	58.5	35.6	10.3
	R 6 年度	9.8	48.3	69.8	73.6	71.6	45.1	15.0
5 新 城	R 5 年度	5.7	26.8	63.0	61.7	76.0	43.3	12.9
	R 6 年度	5.3	69.2	112.3	124.0	117.7	66.0	14.8
6 宜野湾	R 5 年度	8.2	20.2	34.5	34.8	42.1	27.0	10.7
	R 6 年度	6.8	35.2	43.6	45.3	45.2	28.3	11.7
7 真志喜	R 5 年度	4.1	11.6	31.4	27.5	31.5	16.3	5.8
	R 6 年度	4.3	25.2	40.8	43.4	42.9	22.4	5.8
8 大 山	R 5 年度	3.8	9.6	22.3	19.3	22.2	12.3	4.8
	R 6 年度	5.3	35.7	57.7	61.2	60.0	31.3	7.4
9 荻 道	R 5 年度	5.7	17.1	29.2	31.2	35.5	20.8	7.5
	R 6 年度	6.6	28.3	36.1	40.0	38.3	25.2	11.0
10 大 城	R 5 年度	13.5	24.8	39.2	37.3	42.5	26.9	15.0
	R 6 年度	13.3	30.9	37.9	41.1	40.7	28.5	15.0
11 熱 田	R 5 年度	8.1	14.2	27.2	28.1	32.3	19.5	7.8
	R 6 年度	7.9	23.5	31.9	34.3	32.9	21.4	8.6
12 比屋根	R 5 年度	7.7	14.7	24.6	26.3	30.9	20.6	9.0
	R 6 年度	6.8	20.5	28.3	29.0	27.7	17.7	8.1
13 牧 港	R 5 年度	8.2	20.3	24.1	37.0	40.6	27.9	8.0
	R 6 年度	6.8	26.1	35.8	41.4	38.6	22.2	8.8
14 当 山	R 5 年度	9.4	18.3	25.1	35.2	39.9	28.6	10.5
	R 6 年度	7.8	27.3	33.5	38.0	38.4	21.0	9.2
15 内 間	R 5 年度	15.3	17.8	36.8	44.7	24.9	22.2	6.1
	R 6 年度	6.4	17.6	24.7	27.0	23.6	15.9	7.6

参考値

参考値

参考値

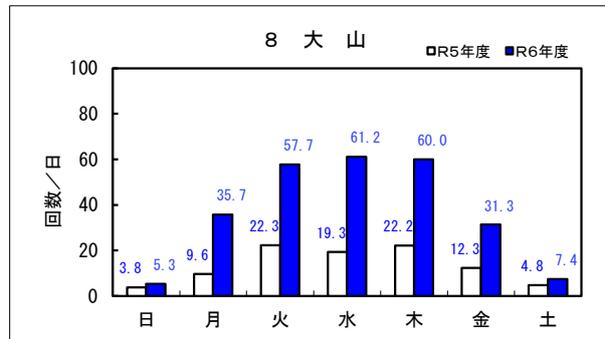
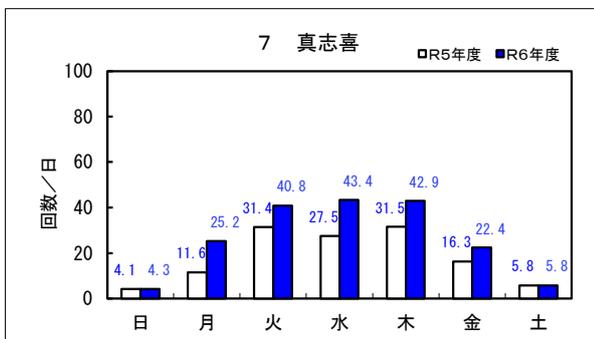
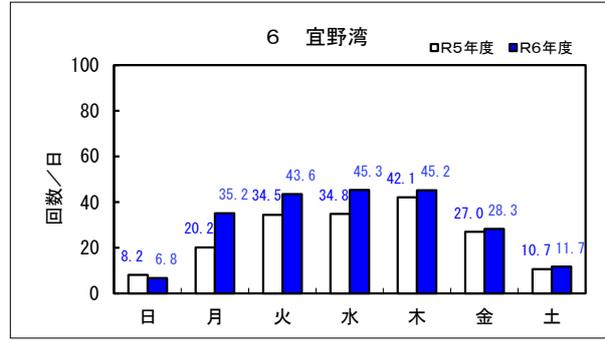
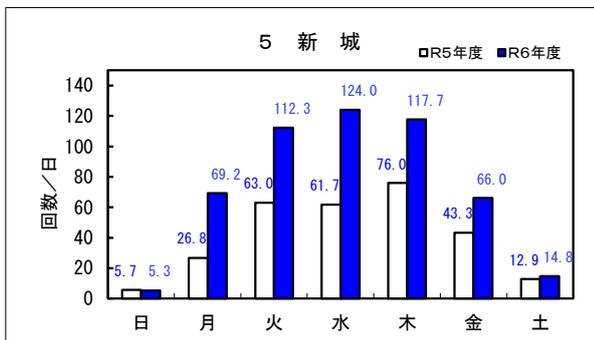
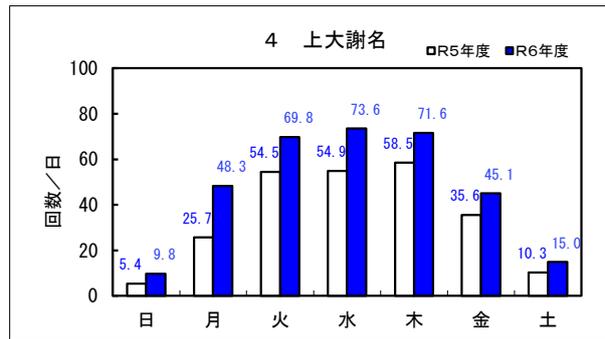
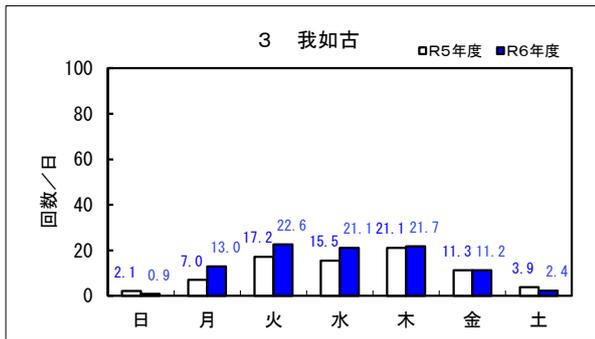
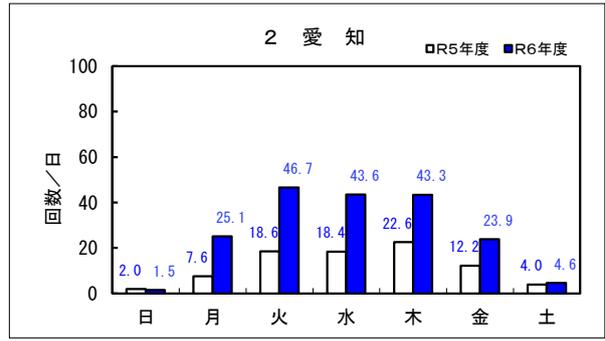
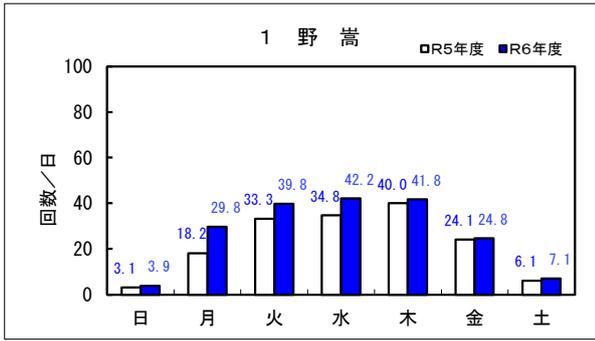
※R5年度：牧港局、当山局及び内間局は欠測期間が2ヶ月を超えるため参考値扱い(欠測率：牧港局 82.2%、当山局及び内間局：82.0%)。

※愛知局は前年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所で測定開始。

※我如古局及び新城局は前年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、機器の設置位置を変更し、測定開始。

※大山局は前年度(令和6年3月)から測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所で測定開始。

※牧港局、当山局及び内間局は前年度(令和6年1月測定開始分)から測定装置及び測定条件を変更。



図F7 曜日別の騒音発生回数（普天間）

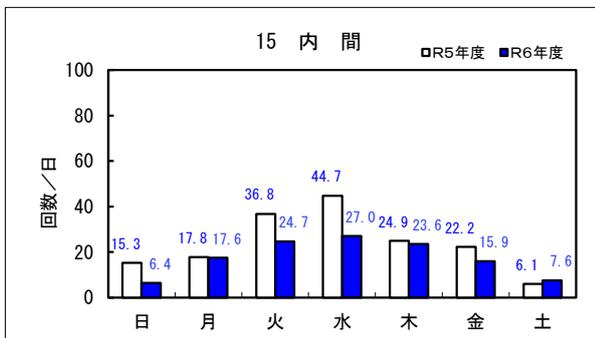
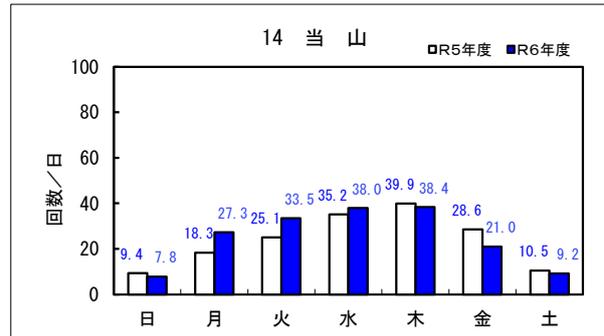
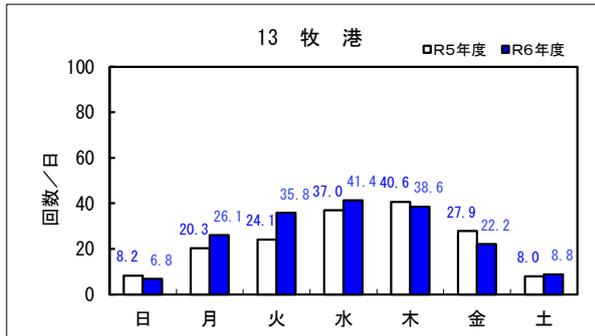
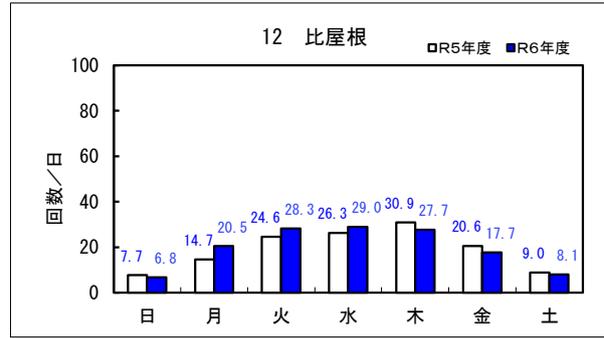
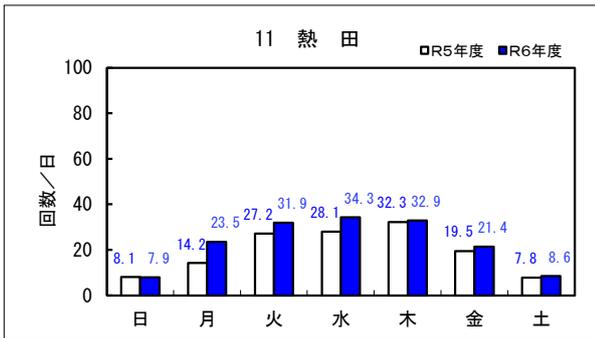
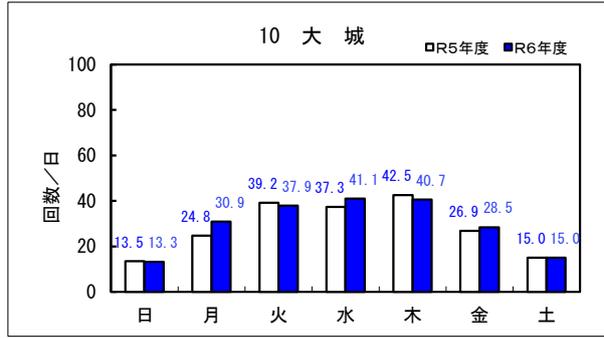
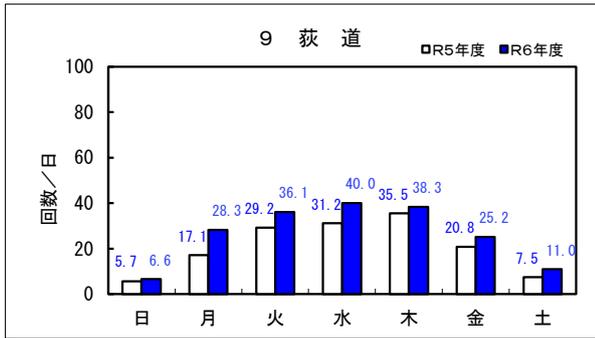


図 F 7-2 曜日別の騒音発生回数（普天間）

表 F 3 時間帯別の月平均騒音発生回数 (普天間)

(回/月)

測定局	時間 年度	N1(00~07)		N2(07~19)		N3(19~22)		N4(22~24)		終日	N1+N4	22~06	前年度比較				
		回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	回数	回数	終日	N1+N4	22~06		
1 野 嵩	R 5 年度	4.1	0.6%	558.9	86.3%	71.3	11.0%	13.5	2.1%	647.7	17.6	17.0					
	R 6 年度	6.8	0.9%	670.4	84.3%	103.2	13.0%	15.3	1.9%	795.7	22.1	20.6	増	増	増		
2 愛 知	R 5 年度	3.8	1.0%	296.7	80.3%	55.1	14.9%	13.8	3.7%	369.4	17.6	17.2					
	R 6 年度	8.8	1.1%	608.7	74.2%	176.1	21.5%	26.6	3.2%	820.2	35.4	34.9	増	増	増		
3 我如古	R 5 年度	4.3	1.3%	262.1	77.6%	55.5	16.4%	15.9	4.7%	337.8	20.1	19.5					
	R 6 年度	2.9	0.7%	302.8	75.1%	87.2	21.6%	10.5	2.6%	403.4	13.4	12.9	増	減	減		
4 上大謝名	R 5 年度	9.1	0.9%	806.2	82.4%	134.9	13.8%	28.5	2.9%	978.6	37.6	35.7					
	R 6 年度	19.8	1.5%	1,110.5	81.4%	208.3	15.3%	26.0	1.9%	1,364.6	45.8	40.9	増	増	増		
5 新 城	R 5 年度	11.6	1.0%	932.0	80.0%	182.7	15.7%	39.5	3.4%	1,165.7	51.0	46.3					
	R 6 年度	14.3	0.7%	1,479.5	76.4%	374.8	19.4%	67.3	3.5%	1,935.9	81.6	78.7	増	増	増		
6 宜野湾	R 5 年度	6.2	1.0%	520.7	82.3%	83.9	13.3%	22.1	3.5%	632.9	28.3	26.8					
	R 6 年度	13.4	1.7%	655.9	81.0%	122.2	15.1%	18.3	2.3%	809.8	31.7	28.3	増	増	増		
7 真志喜	R 5 年度	16.4	2.9%	426.0	76.5%	92.6	16.6%	22.0	3.9%	557.0	38.4	37.3					
	R 6 年度	39.8	5.0%	600.4	74.8%	142.9	17.8%	19.6	2.4%	802.7	59.4	55.9	増	増	増		
8 大 山	R 5 年度	31.0	7.6%	283.9	69.3%	72.5	17.7%	22.3	5.5%	409.8	53.3	51.3					
	R 6 年度	34.0	3.0%	857.2	76.3%	202.8	18.0%	29.8	2.7%	1,123.8	63.8	59.8	増	増	増		
9 荻 道	R 5 年度	4.6	0.7%	555.2	87.0%	65.5	10.3%	13.1	2.0%	638.3	17.7	16.8					
	R 6 年度	4.8	0.6%	694.4	86.1%	91.9	11.4%	15.1	1.9%	806.2	19.9	17.9	増	増	増		
10 大 城	R 5 年度	8.2	0.9%	739.3	85.4%	95.3	11.0%	23.0	2.7%	865.8	31.2	29.3					
	R 6 年度	10.0	1.1%	754.1	83.7%	115.5	12.8%	21.6	2.4%	901.2	31.6	28.9	増	増	減		
11 熱 田	R 5 年度	7.4	1.2%	472.3	79.5%	88.2	14.9%	26.0	4.4%	593.9	33.3	32.1					
	R 6 年度	16.9	2.4%	554.7	79.5%	98.9	14.2%	27.3	3.9%	697.8	44.2	43.0	増	増	増		
12 比屋根	R 5 年度	6.8	1.2%	465.0	80.0%	86.9	15.0%	22.3	3.8%	581.0	29.2	28.2					
	R 6 年度	16.4	2.7%	466.8	77.9%	96.3	16.1%	19.7	3.3%	599.2	36.1	34.6	増	増	増		
13 牧 港	R 5 年度	15.5	2.2%	633.5	89.3%	47.9	6.8%	12.2	1.7%	709.0	27.7	24.9					
	R 6 年度	29.8	3.8%	610.2	78.2%	124.5	16.0%	16.0	2.0%	780.5	45.8	41.9	-	-	-		
14 当 山	R 5 年度	7.4	1.0%	662.2	92.3%	38.8	5.4%	8.8	1.2%	717.2	16.2	14.3					
	R 6 年度	16.3	2.1%	604.0	79.2%	127.7	16.7%	14.7	1.9%	762.7	31.0	28.7	-	-	-		
15 内 間	R 5 年度	8.8	1.2%	646.0	90.0%	55.9	7.8%	6.9	1.0%	717.7	15.7	12.0					
	R 6 年度	23.3	4.4%	429.6	80.4%	74.2	13.9%	7.1	1.3%	534.2	30.4	24.9	-	-	-		
前年度より増加した測定局数												12	11	10			

※R5年度：牧港局、当山局及び内間局は欠測期間が2ヶ月を超えるため参考値扱い(欠測率：牧港局 82.2%、当山局及び内間局：82.0%)。

※愛知局は前年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所で測定開始。

※我如古局及び新城局は前年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、機器の設置位置を変更し、測定開始。

※大山局は前年度(令和6年3月)から測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所で測定開始。

※牧港局、当山局及び内間局は前年度(令和6年1月測定開始分)から測定装置及び測定条件を変更。

【本表における時間帯別月平均騒音発生回数の算出方法】

$$\text{観測された時間帯別騒音発生回数の年間合計(回/年)} \times \frac{365(\text{日/年})(※)}{\text{観測日数(日/年)}} \div 12(\text{月/年})$$

※対象期間に「うるう日(2月29日)」を含む場合、366(日/年)

表 F 4 1日ごとのLdenが57dB又は62dBを超過した日数（普天間）

	1 ■ 野 嵩	2 □ 愛 知	3 ■ 我如古	4 ■ 上大謝名	5 ■ 新 城	6 ■ 宜野湾	7 ■ 真志喜	8 ■ 大 山	9 ■ 荻 道	10 ■ 大 城	11 ■ 熱 田	13 ■ 牧 港	14 ■ 当 山
測定日数	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	365	359
達成日数	253	365	362	179	244	348	293	315	324	337	357	352	314
超過日数	112	0	3	186	121	17	72	50	41	28	8	13	45
超過率	30.7%	0.0%	0.8%	51.0%	33.2%	4.7%	19.7%	13.7%	11.2%	7.7%	2.2%	3.6%	12.5%

※“■”が付いた測定局は57dB、“□”が付いた測定局は62dBを超えた日数

※15局中No.12比屋根局及びNo.15内間局の2局については、類型未指定のため省略。

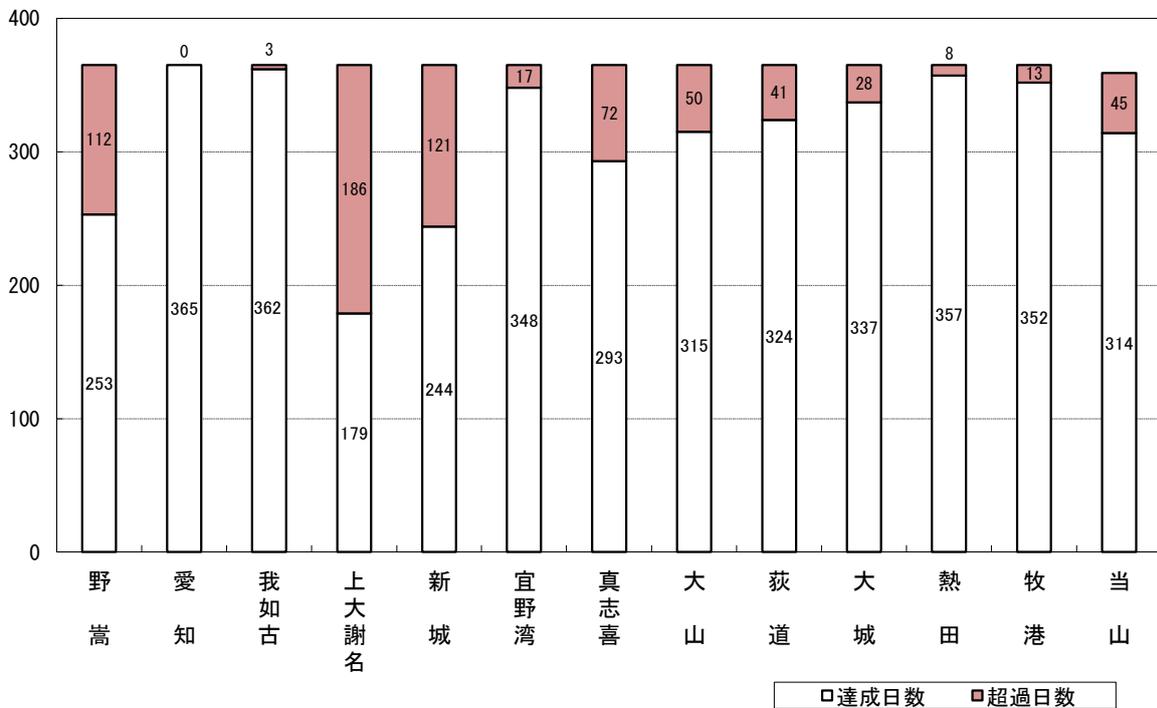
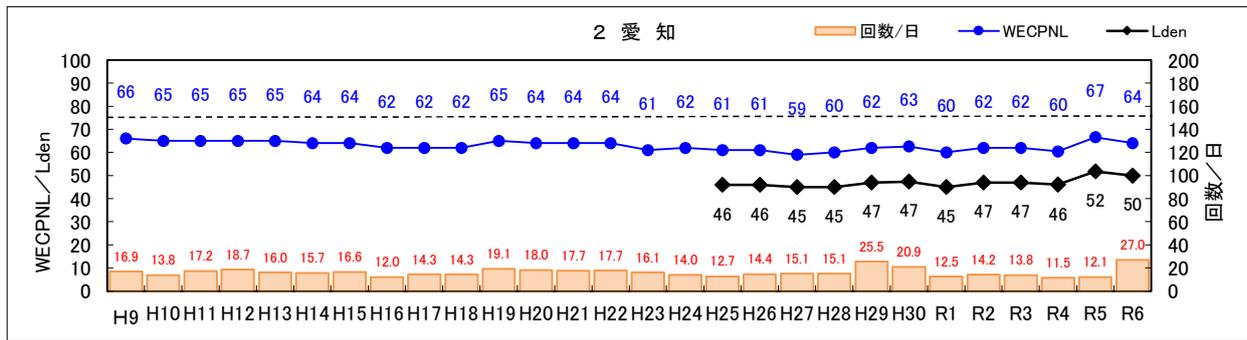
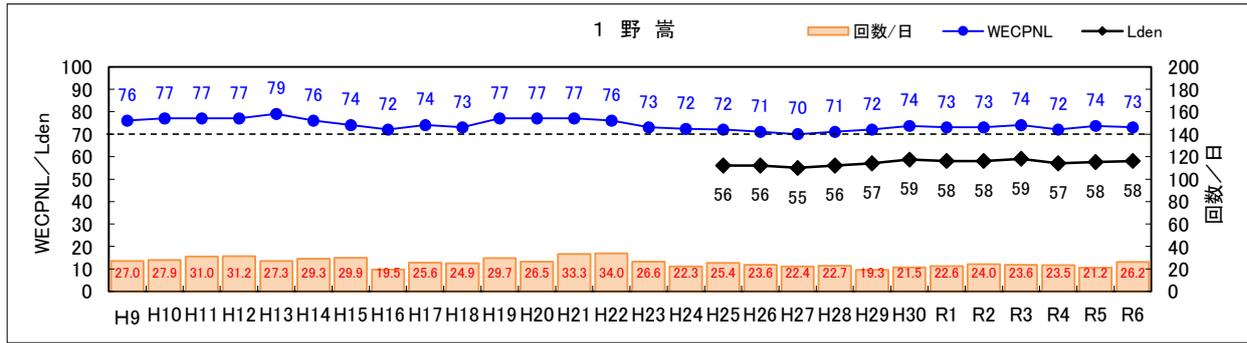
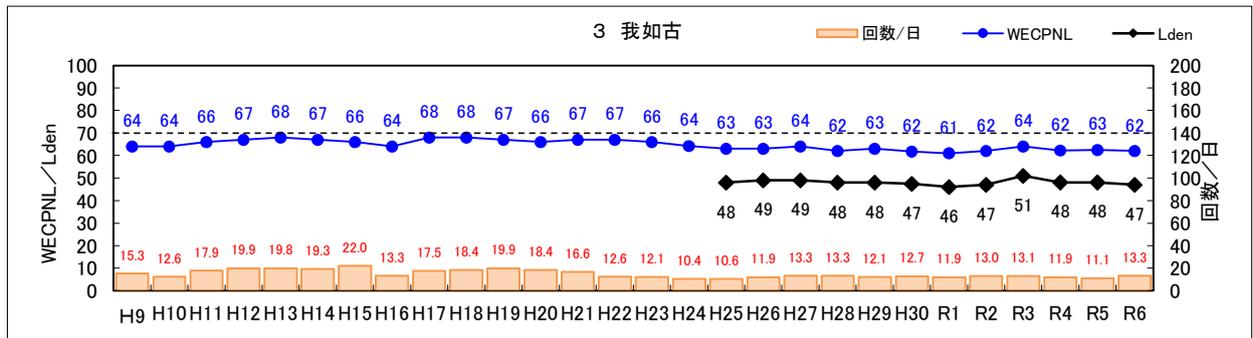


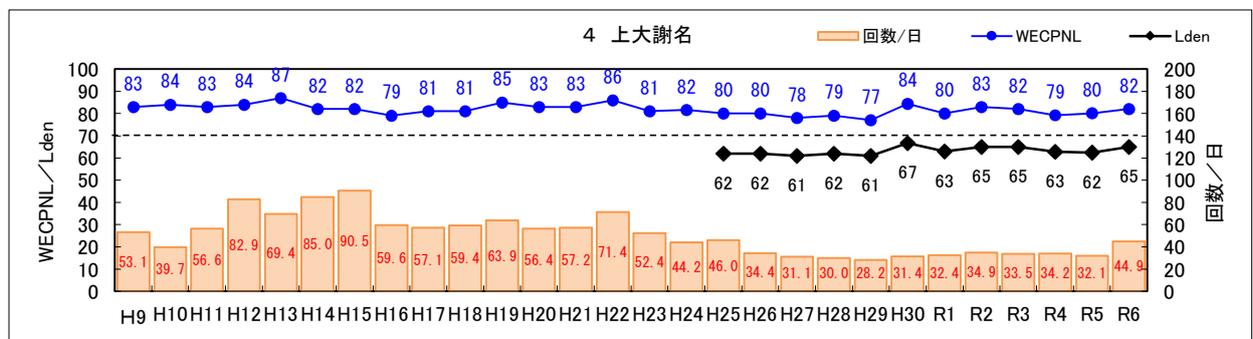
図 F 8 1日ごとのLdenが57dB又は62dBを超過した日数（普天間）



※令和5年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、設置場所を移し、同設置場所で測定開始。

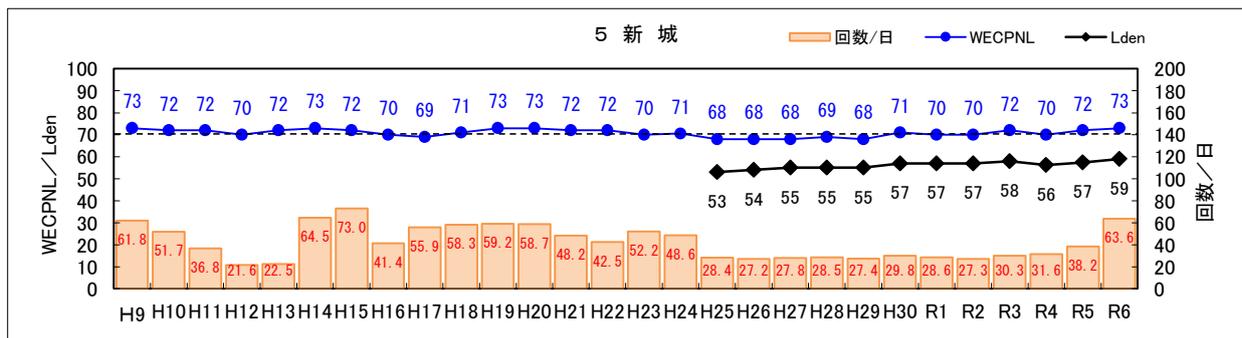


※令和5年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、機器の設置位置を変更し、測定開始。

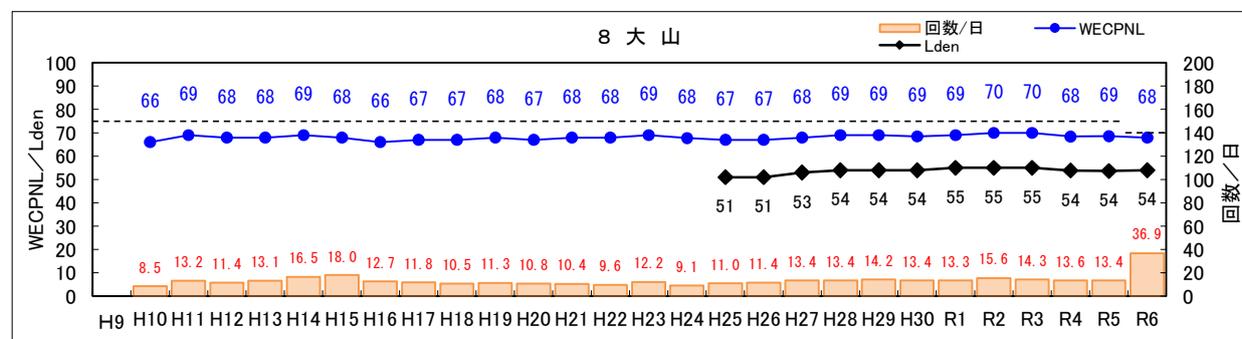
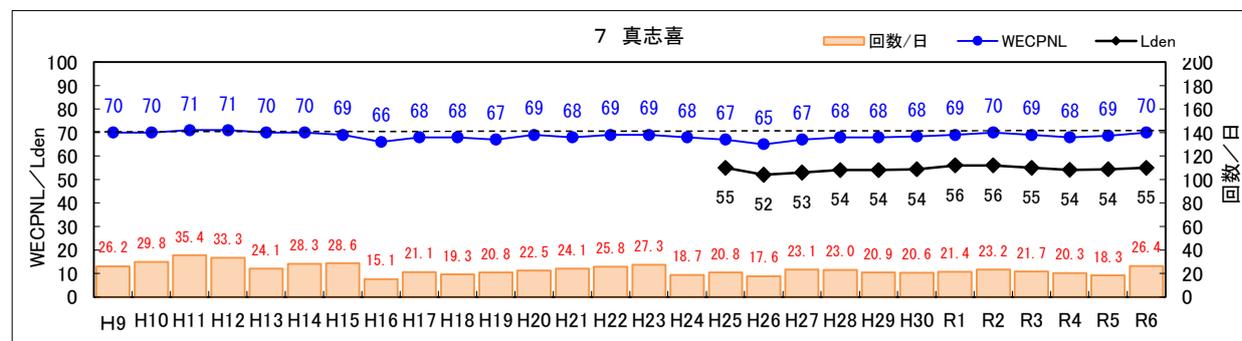
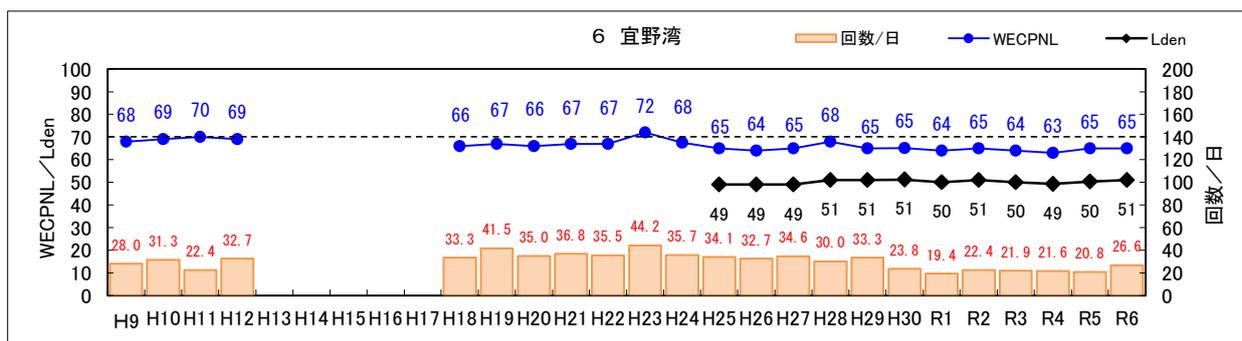


※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

図 F 9 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)



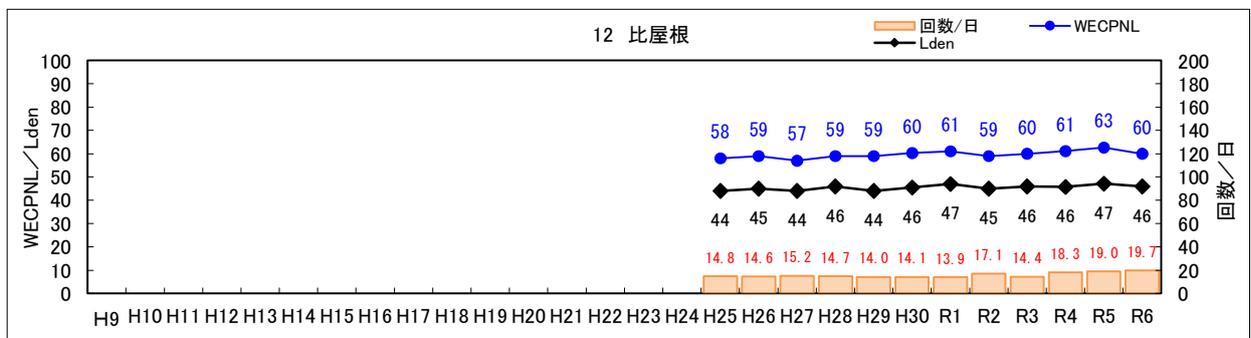
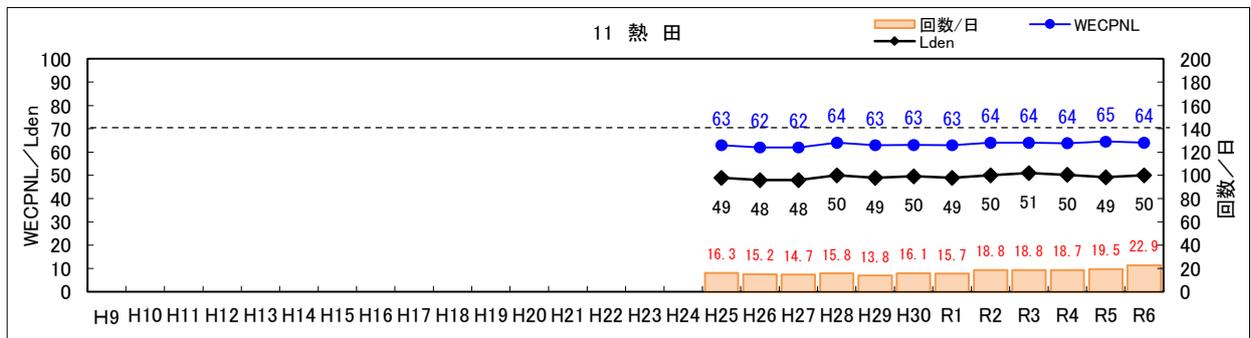
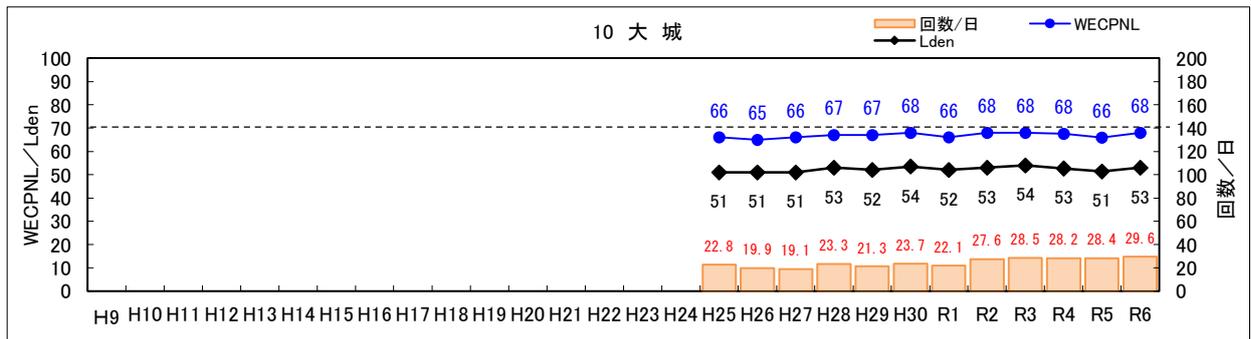
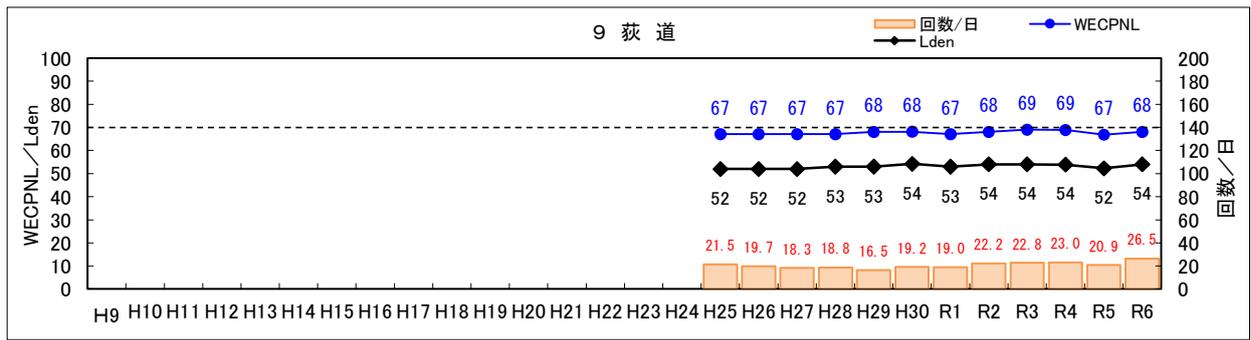
※令和5年度(令和6年2月)から測定装置を変更の上、機器の設置位置を変更し、測定開始。



※令和5年度(令和6年3月)に測定装置を変更の上、設置場所を移設し、同設置場所で測定開始。
また、移設に伴い環境基準の地域類型が類型Ⅱから類型Ⅰに変更。

※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

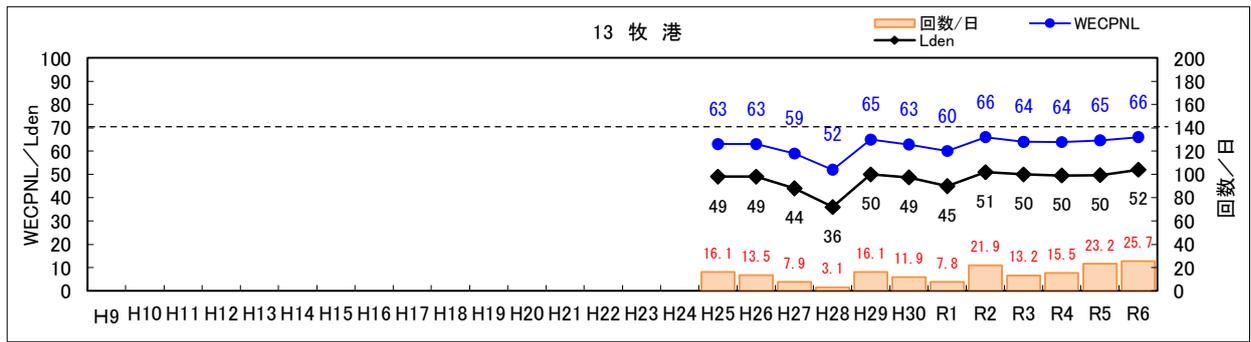
図 F 9-2 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)



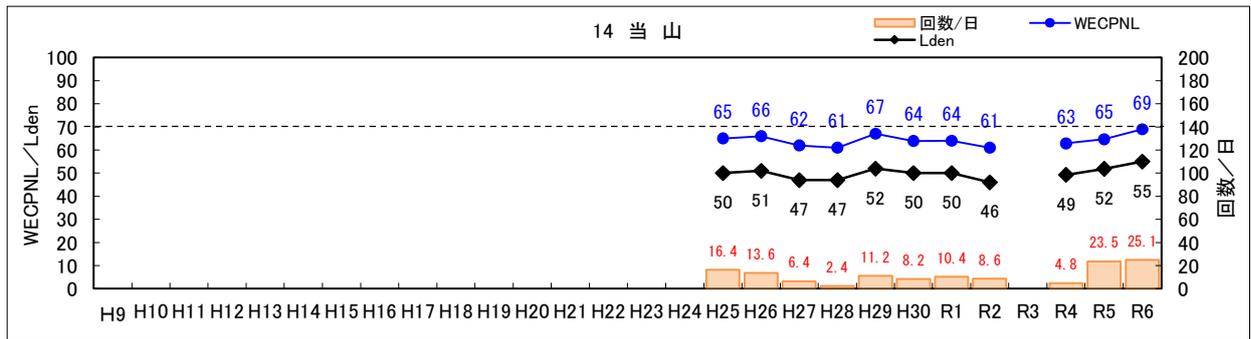
※環境基準類型未指定

※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

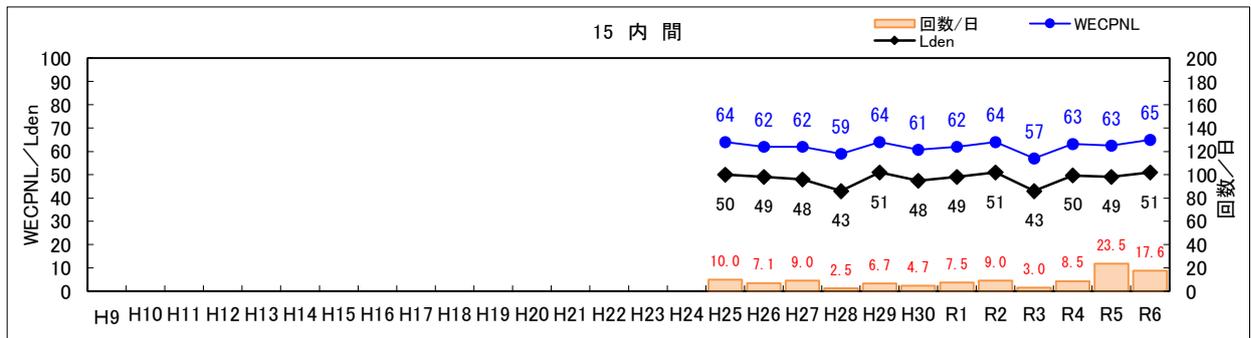
図 F 9-3 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)



※令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。



※令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。



※環境基準類型未指定

※令和5年度(令和6年1月測定開始)から測定装置及び測定条件を変更。

※ 図中の横破線は旧環境基準値(WECPNL)のラインを示す。

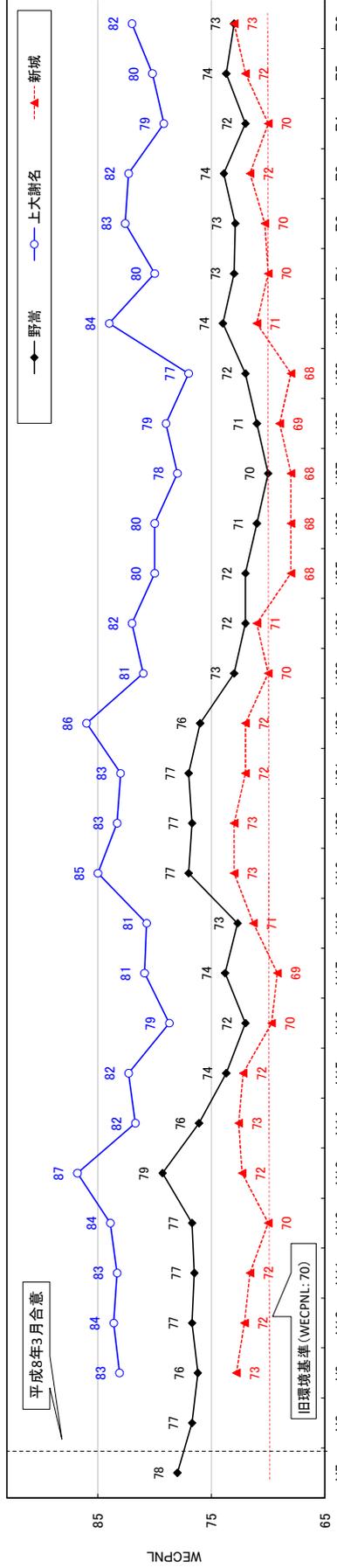
図 F 9-4 WECPNL、Ldenと1日あたりの騒音発生回数の年度別推移(普天間)

表F5 航空機騒音規制措置合意前後の航空機騒音発生状況（普天間）

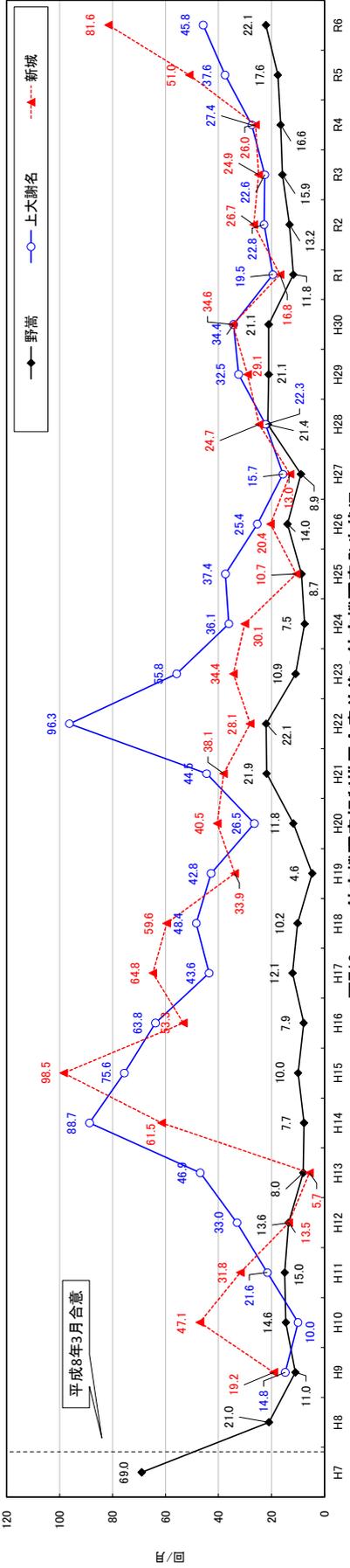
測定地点	合意後																													
	WEOPNL(うるささ指数)																													
環境基準値	年間22時～早期7時までの騒音発生回数(月平均)																													
	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
野嵩	70	78	76	77	77	77	79	76	74	72	74	73	77	77	76	73	72	72	71	70	71	70	71	72	74	73	74	72	74	73
上大謝名	70		83	84	83	84	87	82	82	79	81	81	85	83	86	81	82	80	80	78	79	77	77	84	80	83	82	79	80	82
新城	70		73	72	72	70	73	72	70	69	71	73	73	72	72	70	71	68	68	68	69	68	68	71	70	70	72	70	72	73
野嵩	69.0	21.0	11.0	14.6	15.0	13.6	8.0	7.7	10.0	7.9	12.1	10.2	4.6	11.8	21.9	22.1	10.9	7.5	8.7	14.0	8.9	21.4	21.1	21.1	11.8	13.2	15.9	16.6	17.6	22.1
上大謝名		14.8	10.0	21.6	33.0	46.9	88.7	75.6	63.8	43.6	48.4	42.8	26.5	44.5	96.3	55.8	36.1	37.4	25.4	15.7	22.3	32.5	34.4	19.5	22.8	22.6	27.4	37.6	45.8	
新城		19.2	47.1	31.8	13.5	5.7	61.5	98.5	53.3	64.8	59.6	33.9	40.5	38.1	28.1	34.4	30.1	10.7	20.4	13.0	24.7	29.1	34.6	16.8	26.7	24.9	26.0	51.0	81.6	

※ 平成7年度から継続して測定している野嵩局と、規制措置合意後に設置した上大謝名局と新城局について、騒音発生状況を記載した。

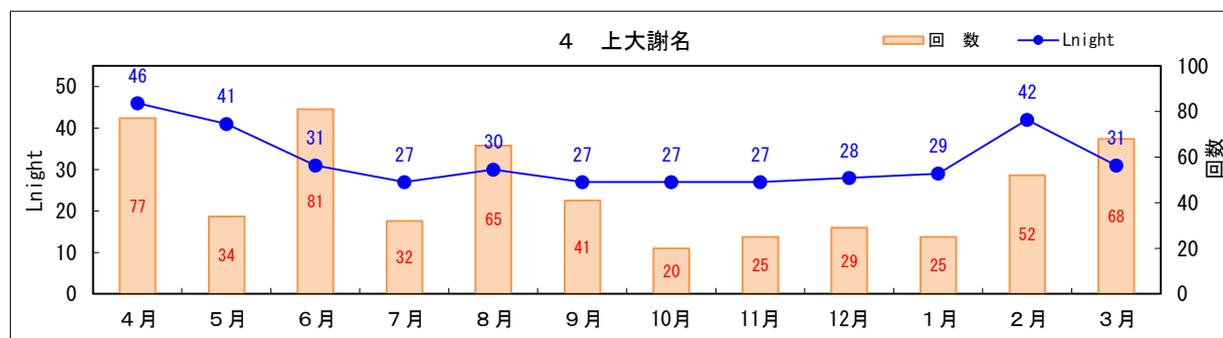
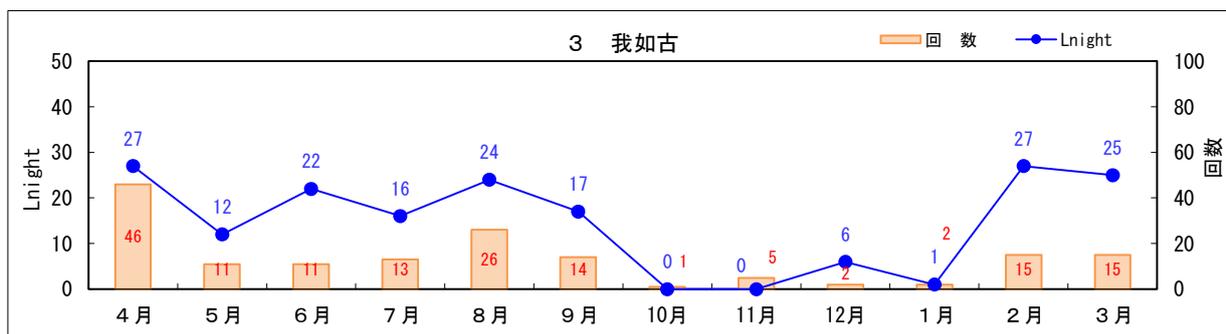
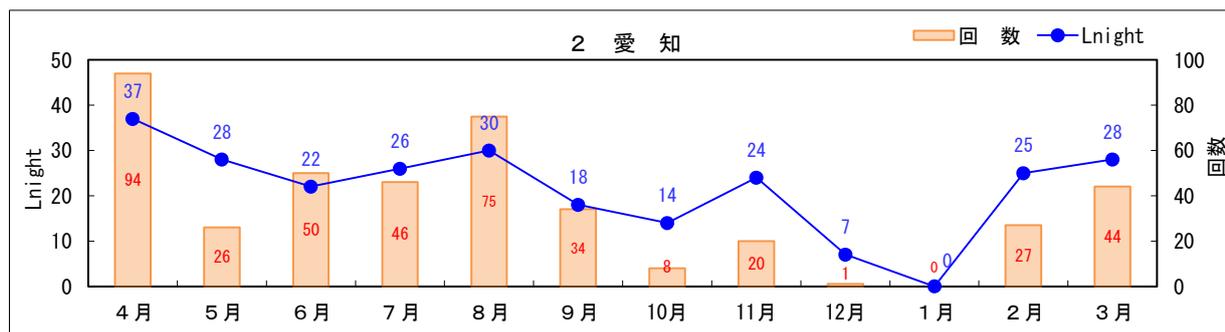
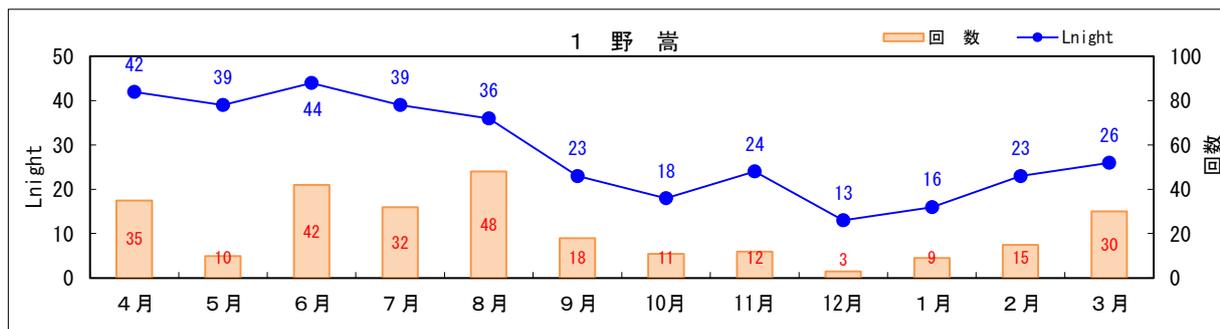
$$\frac{\text{観測された騒音発生回数の年間合計(回/年)}}{\text{観測日数(日/年)}} \times \frac{365(\text{日/年})(※)}{12(\text{月/年})} \div \text{対象期間に「うるささ(2月29日)」を含む場合、366(日/年)}$$



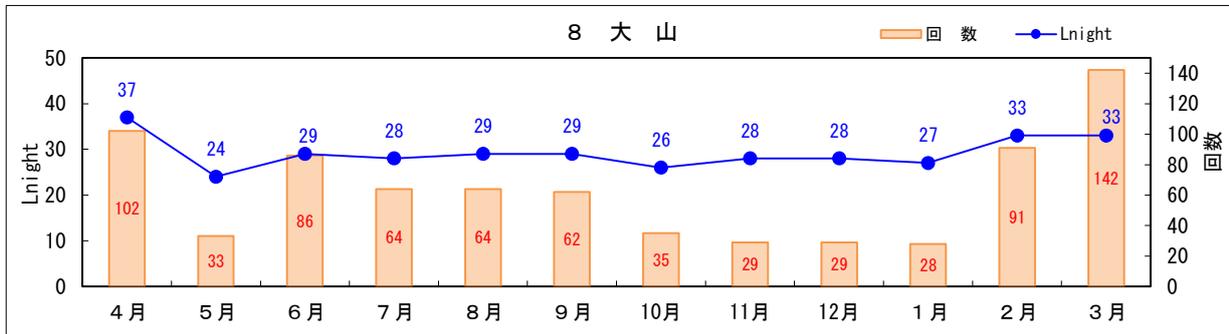
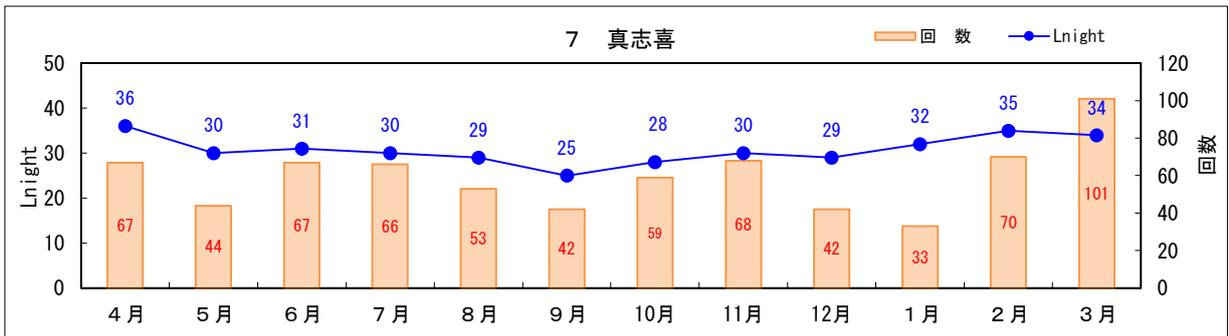
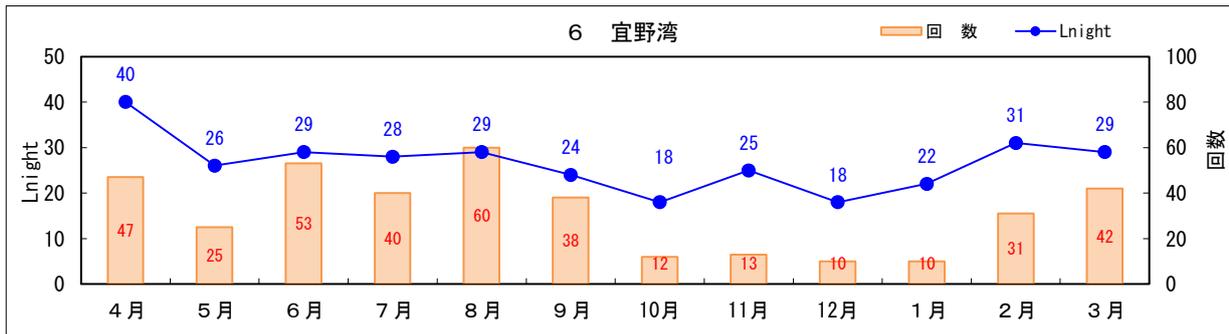
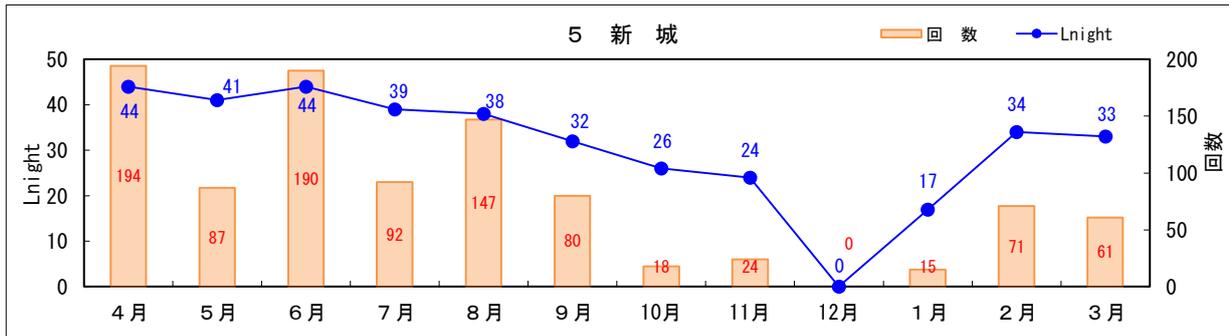
図F10 航空機騒音規制措置合意前後の航空機騒音発生状況 (WEOPNLの年度別推移)



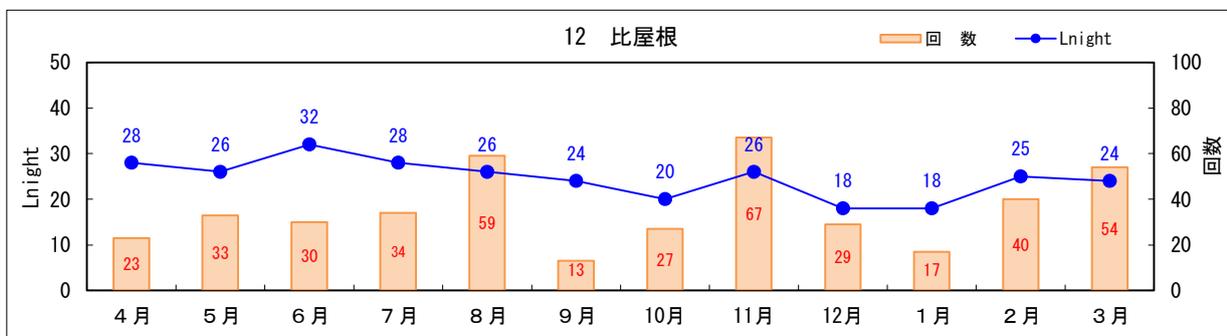
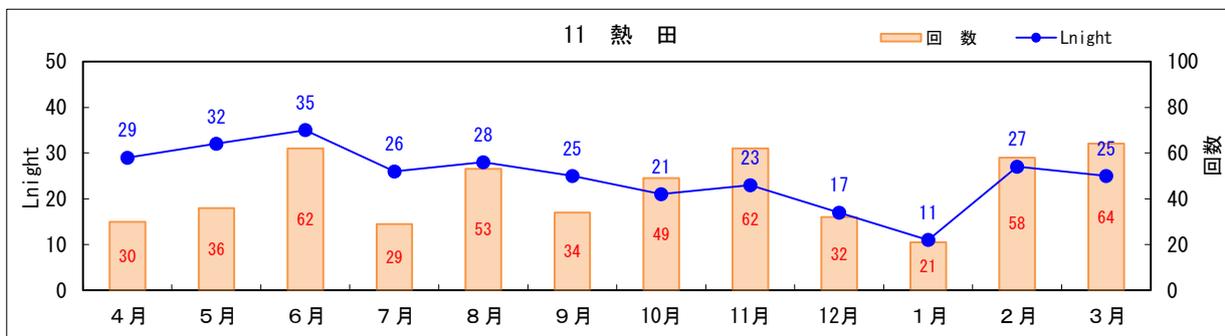
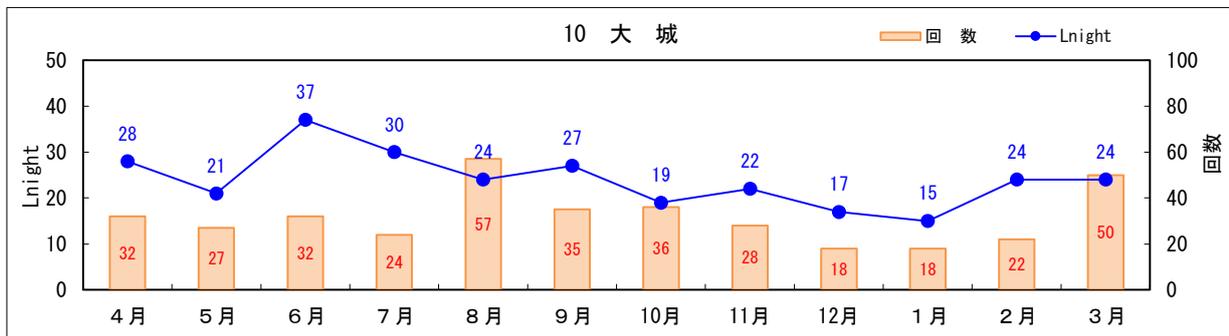
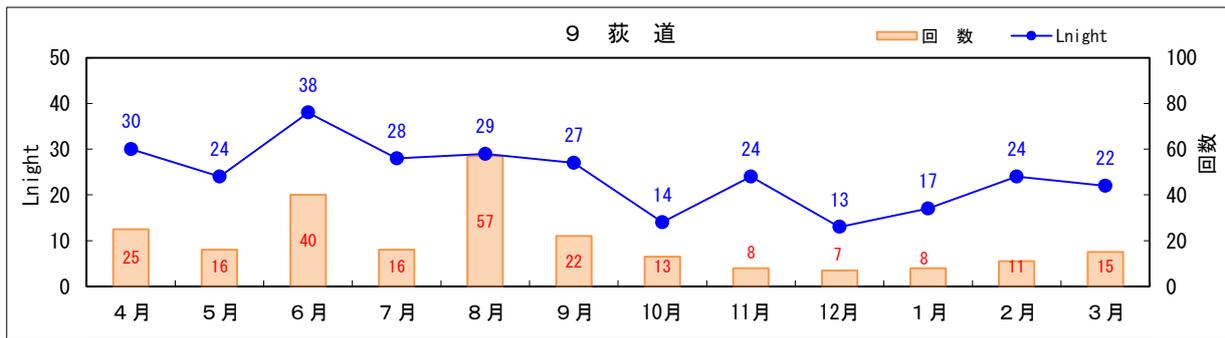
図F10-2 航空機騒音規制措置合意前後の航空機騒音発生状況 (騒音発生回数の年度別推移、夜間(22時)～早期(7時))



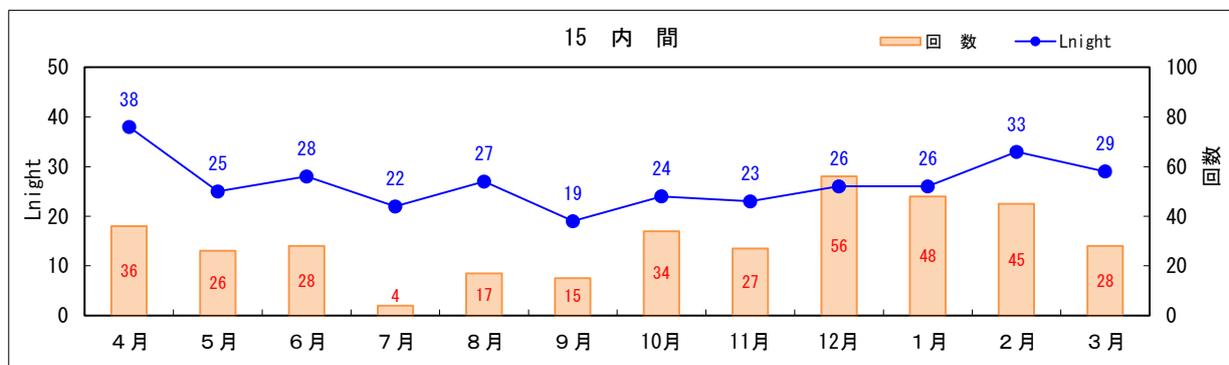
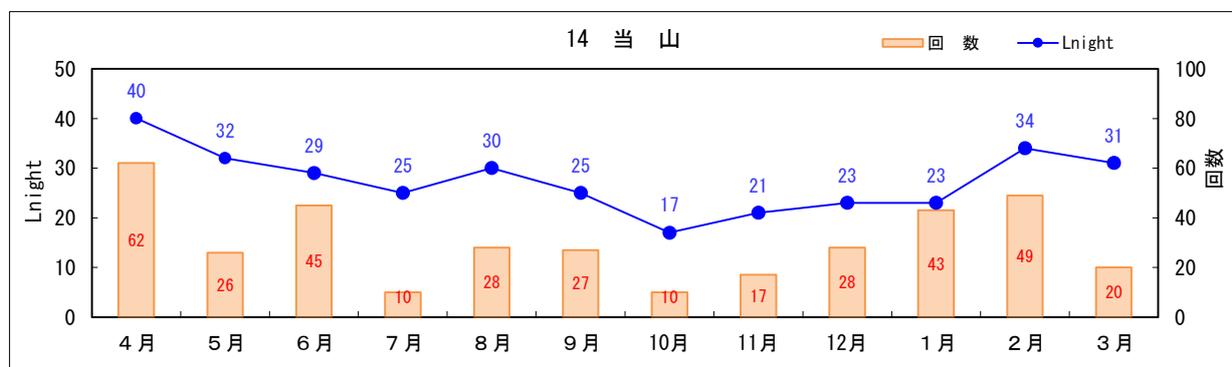
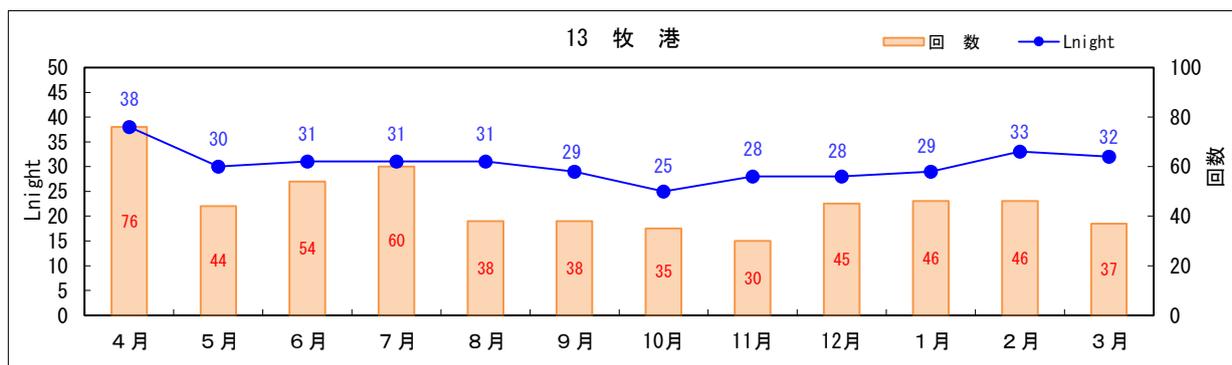
図F11 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）



図F11-2 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）



図F11-3 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）



図F11-4 月別のLnightと夜間早朝（22時～7時）騒音発生回数（普天間）